CORONA

油だき温水ボイラ

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

UHB－G75H（FF）（M）

UHB－G120H（FF）（M）

このたびは、コロナ油だき温水ボイラをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり正しく使用してください。
まちがった取扱いは思わぬ事故や故障の原因となります。
お読みになった後も、取扱説明書・保証書は、工事説明書と共に必ず保管してください。

もくじ

使用前に

1 特に注意していただきたいこと　ページ
(安全のために必ずお守りください)……1～4
2 各部の名称
■外観図……5
■構造図……6
■リモコン（別売）……7～10
3 使用前の準備
■燃料……11
■給油……11
■運転開始前の準備と確認……11～12

使用方法

4 使用方法
〔RHB-MD2の場合〕
●使用方法……13～18
●リモコンの便利な機能……19～23
〔RHB-ME2、RHB-SE2の場合〕
●使用方法……24～27
●リモコンの便利な機能……28
■凍結予防……29
■使用上の注意……30
■長期間使用しないとき……30
5 安全装置……31
6 その他の装置……32

点検・その他

7 日常の点検・手入れ……33～35
8 定期点検……35
9 設計上の標準使用期間……36
10 故障・異常の見分け方と処置方法……37～39
11 部品交換のしかた……40
12 仕様……41
13 アフターサービス……42
14 据付け……43～44
お客様ご相談窓口……46
保証書……裏表紙

株式会社コロナ

1 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

本文中で使われる絵表示の意味は次のとおりです。

禁止	絵表示の意味	指示	絵表示の意味	注意	絵表示の意味
	ガソリン厳禁		電源プラグを抜く		感電注意
	接触禁止		必ずおこなう		高温注意
	分解禁止		アース工事実施		一般的な注意
	一般的な禁止				

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

給排気筒（管・ホース）はずれ危険

給排気筒（管・ホース）がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
（該当機種:屋内用 FF）

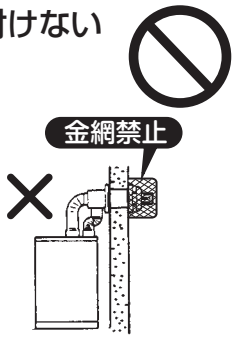
低温やけどに注意

暖房中の床面に長時間、体の同じ部分が触れると、低温やけどをおこすことがあります。特にお子様や体の不自由なかたが使用するときは、周囲の人が十分注意してください。

給排気筒トップ閉そく危険

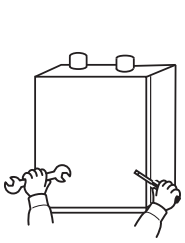
給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。
ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
（該当機種:屋内用 FF）

給排気筒トップには金網などは付けない



給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。
給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があり危険です。
（該当機種:屋内用 FF）

改造・分解禁止

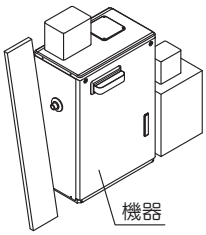


改造・分解して使用しないでください。
改造・分解は、機器の安全性を損なうため、火災など思わぬ事故の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

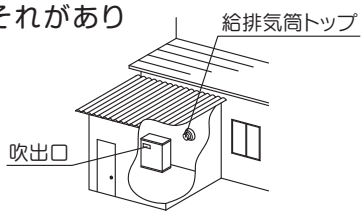
可燃物禁止
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。



高温注意
温水口まわりは高温になるので注意してください。
やけどのおそれがあります。

異常・故障時使用禁止
油漏れやにおい、すすの発生、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。
処置をせずに何度もリセットを繰り返すと、火災や事故の原因になります。
「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがって処置してください。

囲い禁止
機器や吹出口、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



送油経路の油漏れ確認
油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないか確認してください。
火災の原因になります。

ぬれた手でさわらない
電源プラグをぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源コードを切断して延長しない
絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

電源プラグのお手入れをする
ときどきはリモコンの電源スイッチまたは運転スイッチを押して「OFF」にしてから電源プラグを抜き、ほこり（および金属物）を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

アースについて
専用のアース（線）を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。
アース（線）は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース（線）には絶対に接続しないでください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

積雪時は給気口・吹出口の点検と除雪をする
雪により給気口・吹出口がふさがれると、機器の故障の原因になります。
機器の周囲の除雪をしてください。
（該当機種:屋外用 M）

動植物に直接排ガスを当てない
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

⚠注意(CAUTION)

不良灯油使用禁止

灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光をさけて保管してください。
変質灯油（ひと夏持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油など）などの不良灯油を使用しないでください。
機器の故障の原因になります。

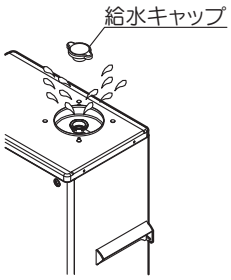
ゴム製送油管の屋外使用禁止

- **⚠注意 ゴム製送油管を屋外では使用しないでください。**
- ゴム製送油管はきつく曲げたり、丸めたりしないようにしてください。
- ゴム製送油管は紫外線にあたるとひび割れを生じて油漏れの原因になります。屋内でもできるだけ日光にあたらない場所を選んでください。

ゴム製送油管の点検・交換

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも2～3年に1度は新しいものに交換されることをおすすめします。
交換しないとひび割れを生じて灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。

運転中や停止直後に給水キャップをはずさない

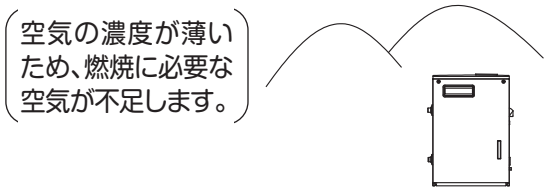


運転中や停止直後に給水キャップをはずさないでください。循環液が飛び散ってやけどをするおそれがあります。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この取扱説明書にしたがって処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。(⇒31ページ)

標高が1,500mを超える高地では使用しない



標高500～1,500mで使用する場合は調整が必要です。
（詳しくは工事説明書をご覧ください）

電源プラグを抜いて停止させない

電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因となります。必ずリモコンの電源スイッチまたは運転スイッチを押して「**OFF**」にして停止させてください。

電源コードは束ねたまま使用しない

電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。火災や発熱の原因になります。

凍結予防

- 循環液が入っていることを確認してください。
- 循環液をご使用にならないことによる熱交換器・配管まわりの凍結・破損については保証いたしません。
- 循環液は、当社純正のコロナ床暖房用循環液を使用してください。3年に1回は必ず交換してください。また、循環液の補充には、専用補充液を使用してください。

循環液の保管に注意

- 循環液・専用補充液は幼児の手の届かない所に保管してください。
- 絶対に飲用しないでください。
  万一、飲んだ場合には吐かせて、医師の診断を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着したときは、よく水洗いしてください。

純正部品以外は使用しない

事故防止のため**コロナ純正部品**以外は使用しないでください。

お願い(NOTICE)

排ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシ・動植物などや、塗装された壁などに当たらないように設置し、増築・改築時も同様に注意する

変色したり、ガラスが割れたり、アルミサッシが腐食することがあります。

リモコンのお手入れには、洗剤およびベンジン、シンナー、ガラスクリーナー、みがき粉などは使用しない

変色や変形、キズがつく場合があります。(⇒34ページ)

リモコンには、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットに注意してください。
故障の原因になります。

電気器具の近くに設置しない

テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

塀などを新たに設置するときは、機器の点検・修理に必要なスペースを確保して、空気がよどまないようにする

塀などと機器との間に十分なスペースがないと、点検・修理の際に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気がよどむと、排ガスが家の中に入ったり、不完全燃焼を起こすおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要なスペースについては、工事説明書参照、またはお買いあげの販売店かお客様ご相談窓口(⇒46ページ)に確認してください。)

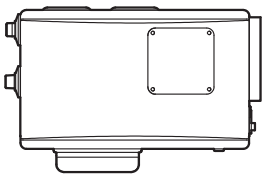
家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になったりします。
家庭用以外に使用すると、保証の対象外になります。
家庭用の暖房以外の用途に使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

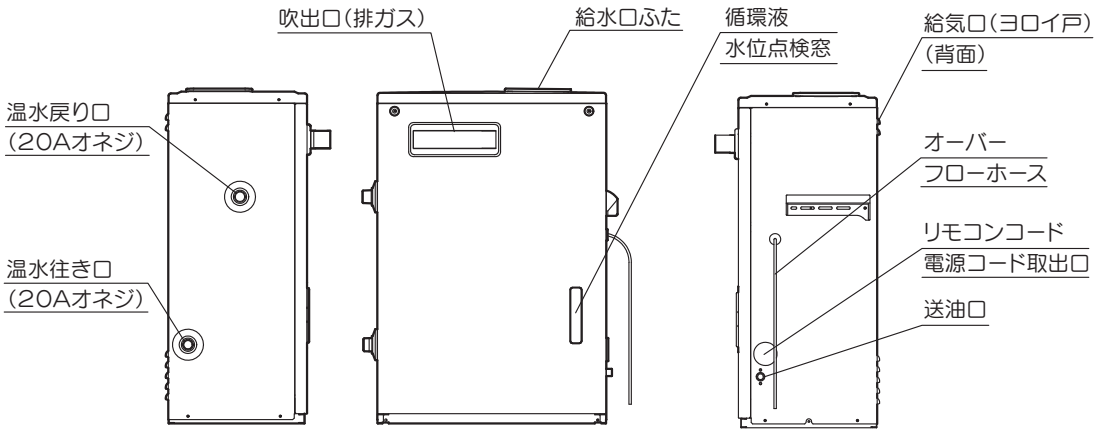
2 各部の名称

外 観 図

■屋外用開放形
〔UHB-G75H(M)〕
〔UHB-G120H(M)〕

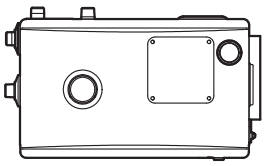


〔平面〕

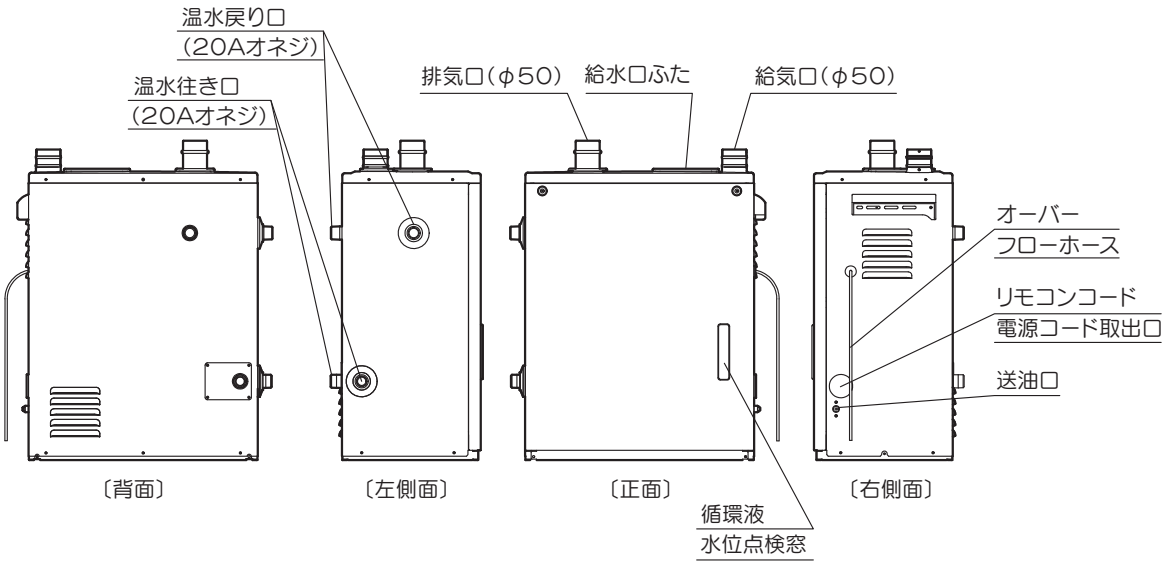


〔左側面〕　〔正面〕　〔右側面〕

■屋内用密閉式強制給排気形
〔UHB-G75H(FF)〕
〔UHB-G120H(FF)〕



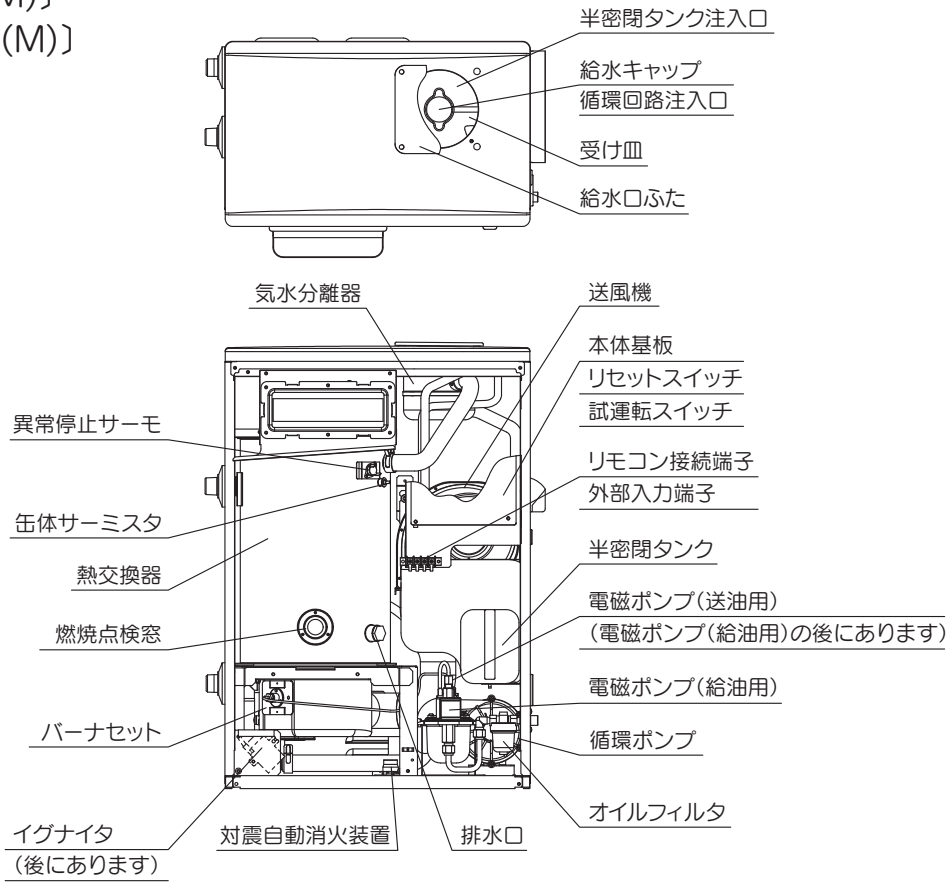
〔平面〕



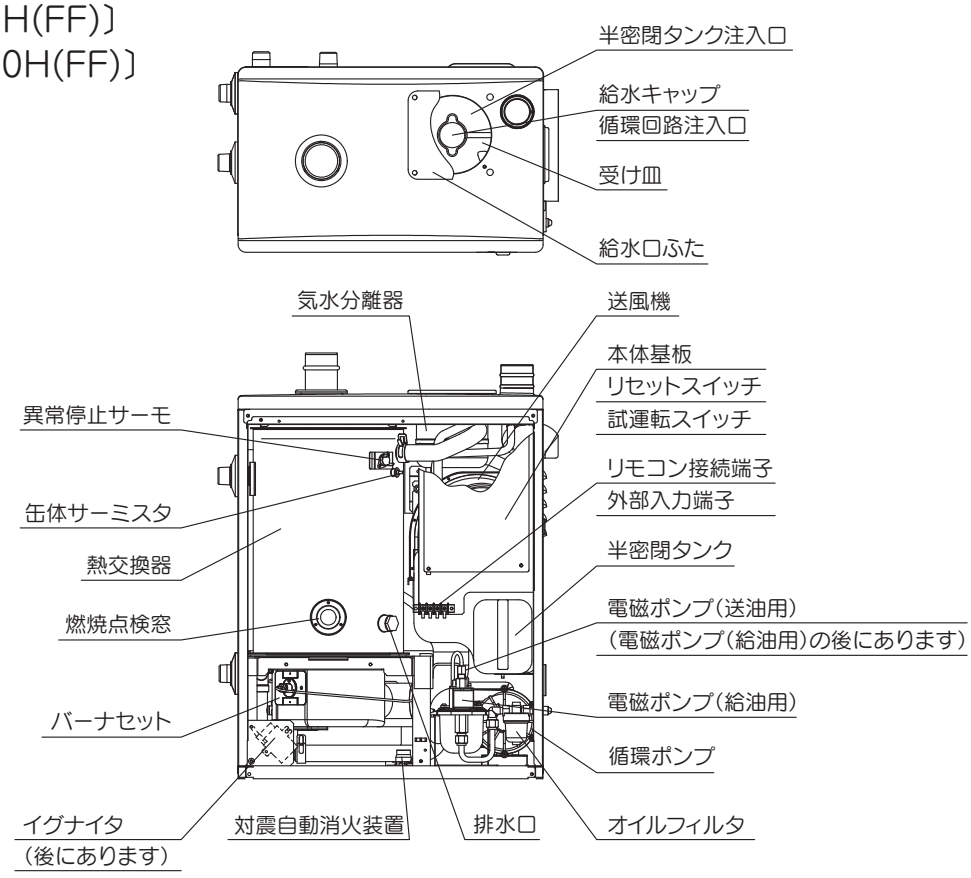
〔背面〕　〔左側面〕　〔正面〕　〔右側面〕

構造図

■屋外用開放形
〔UHB-G75H(M)〕
〔UHB-G120H(M)〕



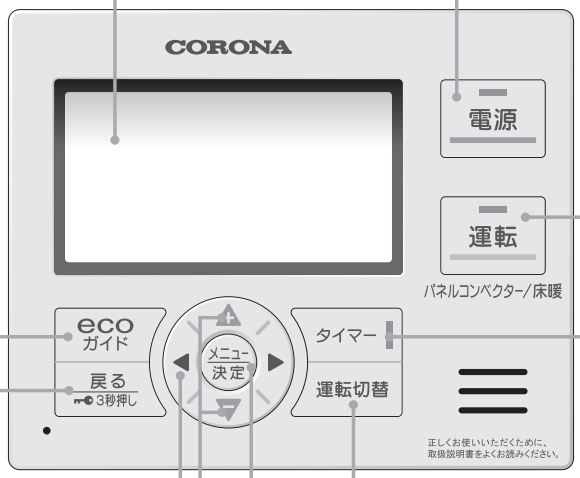
■屋内用密閉式強制給排気形
〔UHB-G75H(FF)〕
〔UHB-G120H(FF)〕



リモコン（別売）

●この機器はリモコンによって操作方法などが異なります。

■高機能リモコン【RHB-MD2】（使用方法は13～23ページ参照）



表示部

- 現在の状態や、温水温度の設定値、タイマー運転の時間帯を表示します。（⇒8ページ）
- エラー表示は38ページ参照。

ecoガイドスイッチ

- ecoガイド機能として下記の項目の選択画面を表示します。
  - ・灯油使用量
  - ・節約アドバイス
  - ・故障かなと思ったら
- ecoガイド画面で項目を決定すると次の画面を表示します。（⇒19～21ページ）

戻るスイッチ

- メニューで使用します。スイッチを押すことで、1つ前の操作画面に戻ります。（⇒23ページ）
- 3秒以上長押しすると、チャイルドロック機能が設定されます。（⇒22ページ）

◀▶スイッチ

- メインメニューで左右選択をおこないます。

▲▼スイッチ

- 温水設定温度を1℃単位で上げ下げできます。
- ecoガイド、メインメニューでの上下選択をおこないます。

電源スイッチ 電源ランプ（緑）

- リモコンの電源のON/OFFをします。
- 電源ON時にランプが点灯します。

運転スイッチ 運転ランプ（緑）

- 通常運転または節約運転のON/OFFをします。
- 運転中にランプが点灯します。（⇒14ページ）

タイマースイッチ タイマーランプ（緑）

- タイマー運転のON/OFFをします。
- タイマー運転中にランプが点灯します。（⇒16ページ）

運転切替スイッチ

- 通常運転と節約運転の切り替えをおこないます。（⇒14ページ）

メニュー／決定スイッチ

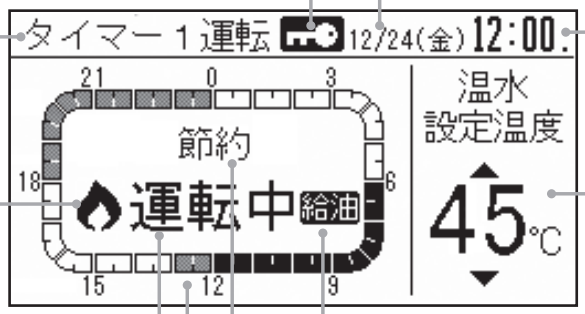
- メニュー画面を表示します。（⇒23ページ）
- 選択した項目や設定を決定します。メニュー画面で項目を決定すると、次の画面を表示します。

●節電のためスイッチ操作をおこなわないと表示部が消灯します。
消灯時間はオプションの「消灯時間の設定」で選択できます。（⇒23ページ）

リモコン（別売）

リモコン表示部

表示部は説明のため全表示してあります。実際の表示は運転時の状況により異なります。



チャイルドロック表示
- チャイルドロック中は「 」を表示します。

タイマー運転表示
- 「タイマー1運転」または「タイマー2運転」を表示します。

燃焼マーク表示
- バーナが燃焼しているときに表示します。

運転中／停止表示
- 通常運転または節約運転時に「運転中」または「停止」を表示します。

タイマー時間表示
- タイマースイッチを押すと現在選択されているタイマー運転コースのタイマー予約時刻を表示します。

日付表示
- 日付（月、日、曜日）を表示します。

時刻表示
- 現在時刻を表示します。

温水設定温度表示
- 温水設定温度を表示します。（30～80℃）
  ※初期設定は45℃です。

給油表示
- 別売給油検知装置（OC-2）が接続されているときは、給油時期をお知らせします。

運転モード表示
- 節約運転の運転モードを表示します。
  （⇒14ページ）

エラー表示
- 機器に異常があった時は表示部にエラー表示します。

表示例：エラー　E1
「エラー」表示が点滅し「エラーNo.」が点灯します

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

リモコン（別売）

●この機器はリモコンによって操作方法などが異なります。

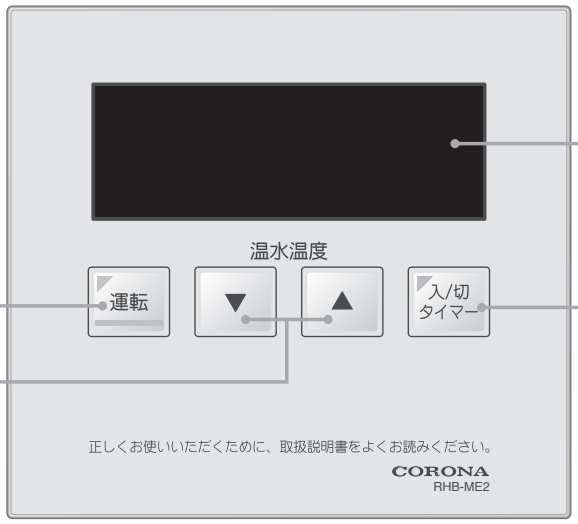
■シンプルリモコン【RHB-ME2】（使用方法は24～28ページ参照）

運転スイッチ
運転ランプ（緑）

- 運転の ON/OFF をします。
- 運転中にランプが点灯します。（⇒24 ページ）

温水温度設定スイッチ

- 温水温度を 1℃単位で上げ下げできます。



表示部

- 現在の状態や、温水温度の設定値、タイマー運転の設定時間を表示します。（⇒10 ページ）
- エラー表示は 38 ページ参照。

入／切タイマースイッチ
入／切タイマーランプ（橙）

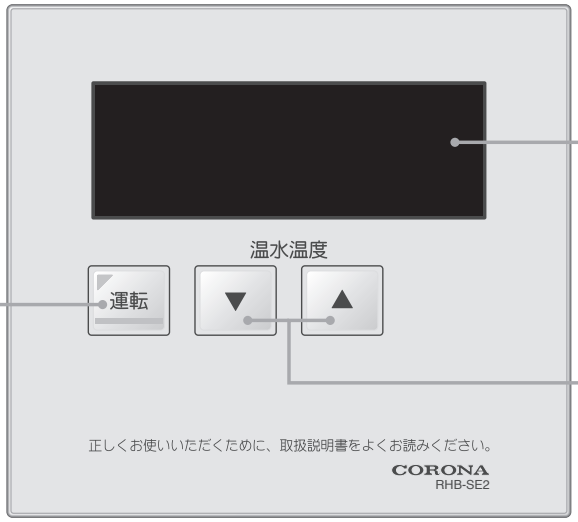
- 入タイマーまたは切タイマーのセット／解除をします。
- 入タイマーまたは切タイマーセット中にランプが点灯します。（⇒25～26 ページ）

■増設リモコン【RHB-SE2】（使用方法は24～28ページ参照）

【※シンプルリモコンと〔入／切タイマースイッチ〕のみ異なる】
〔高機能リモコン、シンプルリモコンの他にもう１台リモコンを取り付けたいときに使用します。〕

運転スイッチ
運転ランプ（緑）

- 運転の ON/OFF をします。
- 運転中にランプが点灯します。（⇒24 ページ）



表示部

- 現在の状態や、温水温度の設定値、タイマー運転の時間帯を表示します。（⇒10 ページ）
- エラー表示は 38 ページ参照。

温水温度設定スイッチ

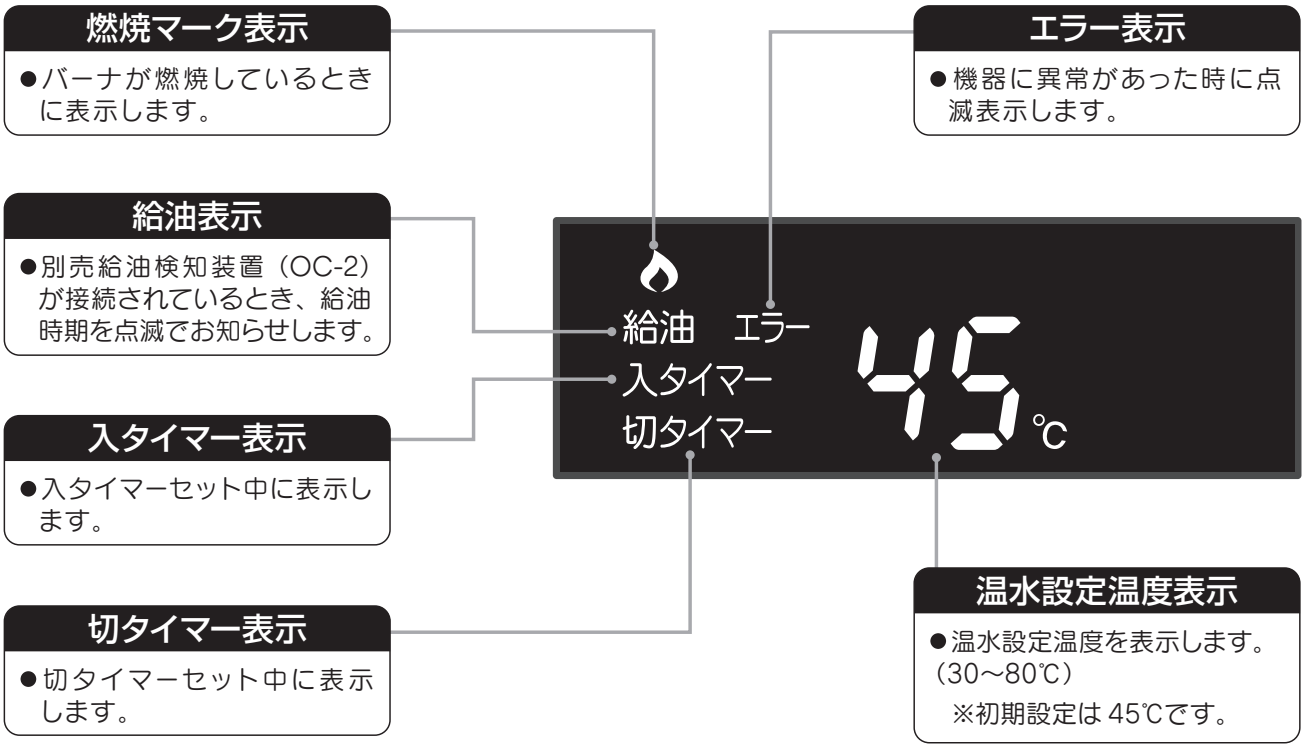
- 温水温度を 1℃単位で上げ下げできます。

リモコン（別売）

リモコン表示部

〔シンプルリモコン（RHB-ME2）、増設リモコン（RHB-SE2）とも同じ〕

表示部は説明のため全表示してあります。実際の表示は運転時の状況により異なります。



※増設リモコンの「入タイマー」「切タイマー」表示は「シンプルリモコン」とセットで使用した場合に表示します。

表示画面の特性について

●表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。

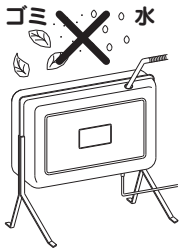
3 使用前の準備

燃　料

- ⚠警告 ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- 燃料は、灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。
- 変質灯油、不純灯油は絶対に使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給　油

■給油の際の注意



- 必ず消火を確認してからおこなってください。
- 水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。

■油タンクの水抜き

- 油タンクに水が混入していた場合は、必ず水抜きをおこなってください。

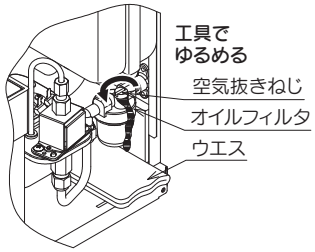
■給油口ふたは、確実に締めてください。

■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- ご使用中、油タンク内の灯油がなくなると、リモコンに「エラー1」が表示され消火します。油タンクを空にしないように早めに給油してください。
- 「エラー1」が表示された場合は、油タンクに給油し、送油経路内の空気抜きしたのち、再び運転操作をしてください。
- 油タンクが空になり給油したときは送油経路内に空気がたまり、正常に送油できなくなることがあります。このような場合には次の手順で空気抜きをしてください。

①油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの下側にウエスなどを当てます。
②空気抜きねじをゆるめて灯油が連続して出てきたらねじを締めてください。
③あふれた灯油はきれいにふきとってください。



- 空気抜きねじをはずしますとOリングがねじからはずれ、紛失したり、きずをつけたりして油漏れとなるおそれがありますので、空気抜きのときはゆるめるだけで、はずさないでください。

運転開始前の準備と確認

■温水配管、循環液漏れの確認

- 機器内部や温水配管、床暖パネル接続部などから、循環液漏れがないか確認してください。

■送油経路の油漏れの確認

- 油タンクや送油管の接合部・給油コックなどから油漏れがないかどうか確認してください。

■電気配線の確認

- ⚠注意 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。
- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

■給気口・吹出口の確認

- ⚠注意 雪により給気口・吹出口がふさがれると、機器の故障の原因になります。
（該当機種：屋外用 M）

■機器の周囲確認

- ⚠注意 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。
- ⚠注意 機器や吹出口、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。

■給排気筒の確認 （該当機種：屋内用 FF）

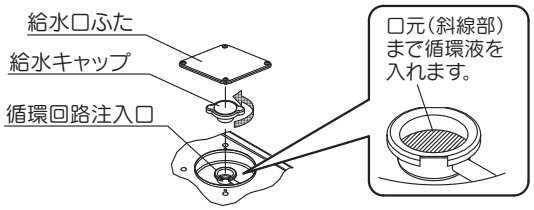
- ⚠警告 給排気筒（管・ホース）がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- ⚠警告 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

運転開始前の準備と確認

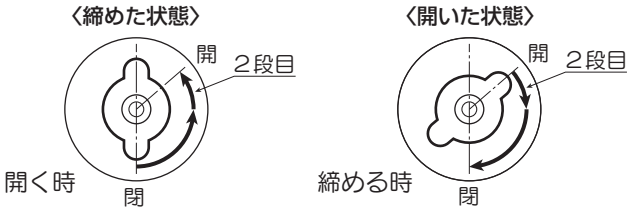
■循環液の水位確認（半密閉システムのとき）

- 循環液には、必ずコロナ床暖房用循環液を使用してください。
- 必ず運転開始前の循環液が冷えた状態で確認してください。
  運転中や、運転後しばらくは機器が高温・高圧になっているため、やけどのおそれがあります。

循環回路注入口の口元まで、循環液が入っていることを確認してください。

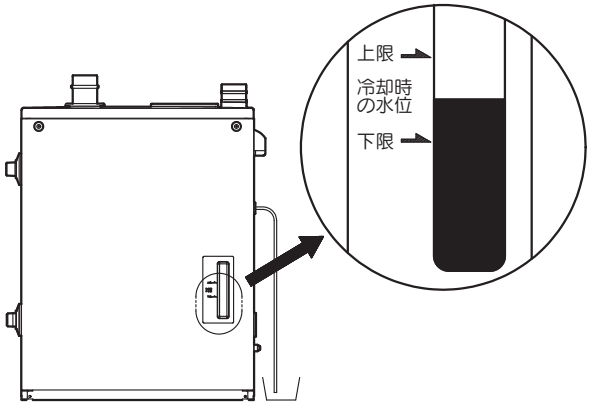


機器上面の給水口ふたをはずし（ねじ4ヵ所）、給水キャップを反時計方向に回して取りはずします。
※給水キャップは、反時計方向に約130°まわすとはずれます。



※給水キャップは２段式になっています。２段目をまわす際は、給水キャップを下に押しながらまわすとはずしやすいです。
※循環液の確認が終わったら、給水キャップ・給水口ふたを元通りに取り付けてください。

循環液水位点検窓の規定水位まで循環液が入っていることを確認してください。



循環液は冷却時に「上限～下限」範囲になるようにしてください。「上限」以上入れますと、暖房運転時膨張分があふれ出ることがあります。
循環液が温まった状態で膨張していますので、「上限」を超えても異常ではありません。

ご注意

- 循環液が蒸発により不足している場合は、専用補充液を補給してください。
  （34 ページ「日常の点検・手入れ」にしたがってください）

■システムの圧力確認（密閉システムのとき）
〔別売部品（密閉配管セット：UHB-NM4、エア抜き弁セット：UHB-NM5）を使用の場合〕

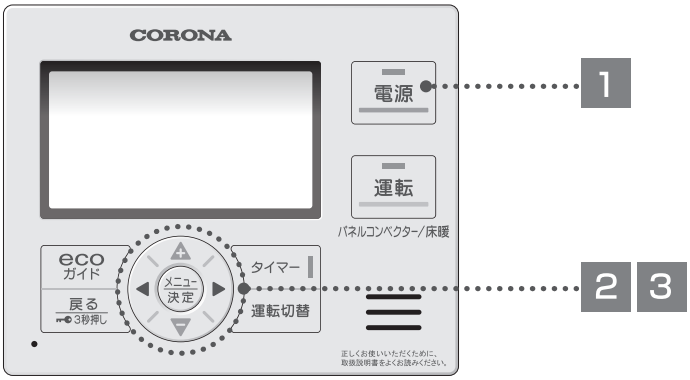
- 循環液の冷却時に、システムに取り付けてある圧力計が、規定圧（コロナ純正の膨張タンクを使用した場合は40kPa）であることを確認してください。
  規定圧以下の場合は販売店に連絡してください。

4 使用方法

高機能リモコン 【RHB-MD2】

■現在時刻の合わせ方

●現在時刻は工場出荷時に合わせてありますが、多少ずれることがあります。時刻がずれている時は、下記の手順で合わせてください。



1 電源 を押す。

●リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ(緑)が点灯します。
●時刻表示部に「日時・時間」が表示されます。

2 メニュー決定 を押して ▲▼◀▶ で「日時設定」を選び、メニュー決定 を押す。

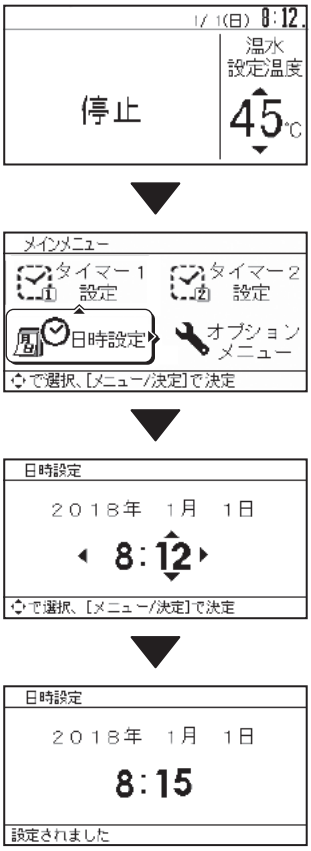
●「メインメニュー」で「日時設定」を選びます。
●表示部に「現在時刻」が表示されます。

3 ▲▼◀▶ で時刻を合わせ、メニュー決定 を押す。

例:午前8時15分に合わせる場合

● ◀▶で時刻に切り替え、▲▼で時刻を合わせてください。
● メニュー決定を押すと時計動作を開始し、「メインメニュー」に戻ります。
●通常の運転画面に戻るとき、戻る 3秒押し を押してください。

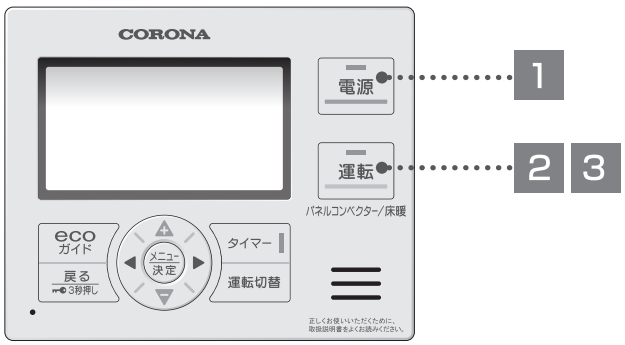
リモコン表示



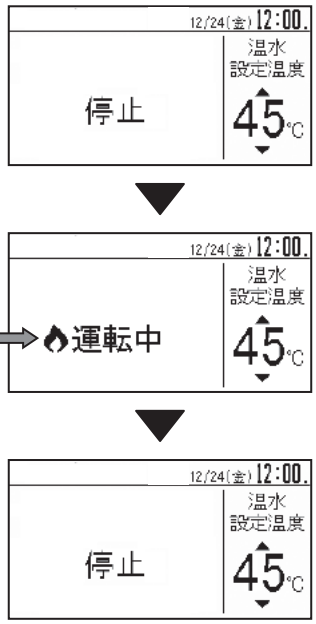
お知らせ

●バックアップ電源により1度セットした時刻は電源プラグをコンセントから抜いたり、停電後再通電したときでも記憶されていますので、再セットする必要はありません。
●時刻は24時間表示です。昼の12時は「12:00」、夜の12時は「0:00」と表示します。

■通常運転



リモコン表示



運転開始

1 電源 を押す。

- リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ(緑)が点灯します。

2 運転 を押す。

- 運転ランプ(緑)が点灯し、表示部に「運転中」が表示され、通常運転を開始します。
- バーナの燃焼が始まると🔥(燃焼マーク)が表示されます。

運転停止

3 運転 を押す。

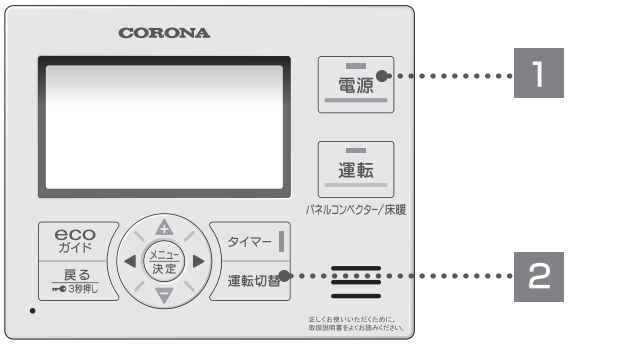
- 運転ランプが消灯し、表示部に「停止」が表示され、通常運転を停止します。

お知らせ

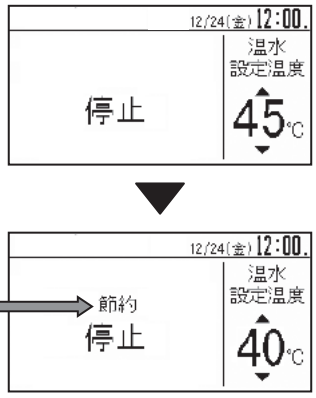
- 長時間ご使用にならない場合は、リモコンの 電源 を押して、電源を切ってください。(電源ランプも消灯します)

■節約運転の設定について

- **節約運転を設定すると、通常運転より温水温度設定を下げて運転することができます。外出時や昼間・夜間などは通常運転時よりも温水温度設定を下げてご使用いただくと、部屋の暖めすぎを抑えることができ、経済的です。**



リモコン表示



1 電源 を押す。

- リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ(緑)が点灯します。

2 運転切替 を押す。

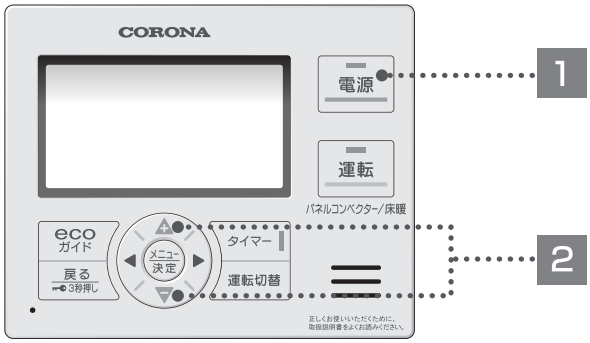
- 「節約」を表示し、節約設定「ON」となります。
- 再度 運転切替 を押すと「節約」の表示が消え、節約設定「OFF」となります。

お知らせ

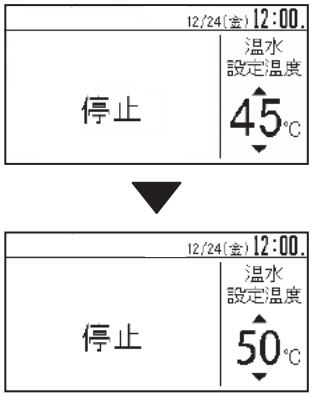
- 「電源 ON」の状態であれば、「運転中」「停止」のどちらでも設定できます。

■通常運転時の温水温度設定（温度を変更したいとき）

- 温水温度をお好みの温度に設定します。
  ▲／▼で、30～80℃まで1℃きざみで設定できます。
- 温水温度の設定は、電源「ON」の状態であれば、「運転中」、「停止」のどちらでも可能です。
- お買いあげ時の温水温度の設定は、45℃になっています。



リモコン表示



1 電源 を押す。

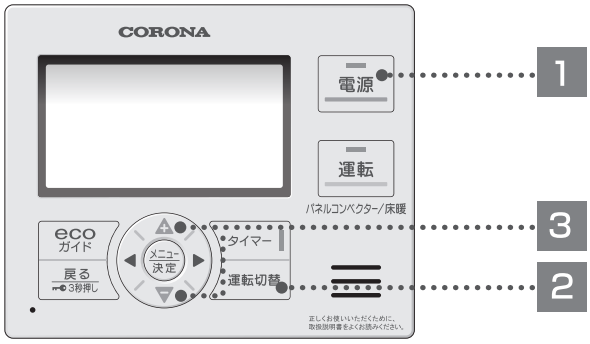
- リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ（緑）が点灯します。

2 ▲▼ を押し温水温度の設定をする。

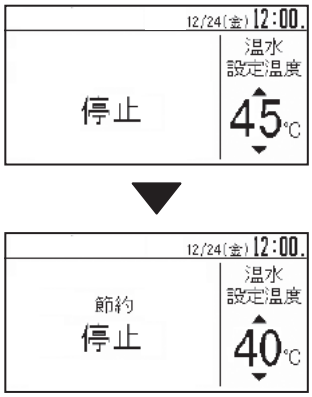
- 1回押すごとに、1℃ずつ変わります。

■節約運転時の温水温度設定（温度を変更したいとき）

- 温水温度をお好みの温度に設定します。
  ▲／▼で、30～80℃まで1℃きざみで設定できます。
  ※通常運転の設定温度より高く設定することはできません。
- 温水温度の設定は、電源「ON」の状態であれば、「運転中」、「停止」のどちらでも可能です。
- お買いあげ時の温水温度の設定は、40℃になっています。



リモコン表示



1 電源 を押す。

- リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ（緑）が点灯します。

2 運転切替 を押して「節約」を表示し、節約設定「ON」とする。

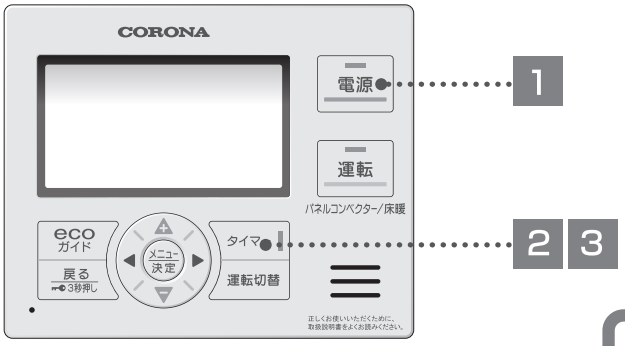
- 再度 運転切替 を押すと「節約」の表示が消え、節約設定「OFF」となります。

3 ▲▼ を押し温水温度の設定をする。

- 1回押すごとに、1℃ずつ変わります。

■タイマー運転

- 1日のうち必要な時間帯だけ、お好みの運転を自動的におこなうことができます。
  通常運転、節約運転、停止のいずれかのモードを選択し、30分単位で設定できます。
  - 「通常運転」…設定した温水温度で運転をおこないます。
  - 「節約運転」…通常運転時の温水設定温度より低めの温度で運転をおこないます。(⇒14ページ)
- お買いあげ時の設定は、0～24時の間全て停止の設定となっています。
  (タイマー運転時刻の設定は17ページをお読みください)



タイマー運転開始

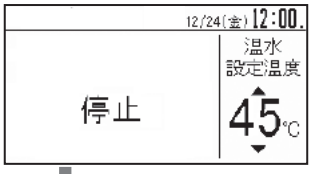
1 電源 を押す。

- リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ(緑)が点灯します。

2 タイマー を押す。

- タイマー運転時刻の設定内容を表示します。(→17ページ)
- スイッチを押すごとに「タイマー1運転」、「タイマー2運転」、「OFF(タイマー時間表示が消える)」に切替わります。
- タイマーランプ(緑)が点灯し、タイマー運転を開始します。
- 選択された設定時刻に運転を開始し、バーナの燃焼が始まると🔥(燃焼マーク)が表示されます。

リモコン表示



タイマー

【タイマー1運転 表示例】

タイマー

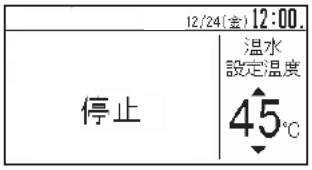
【タイマー2運転 表示例】

お知らせ

- タイマー運転時刻または、運転モード(通常、節約、停止)を変更する場合は、17ページ「タイマー運転時刻の設定」にしたがって変更してください。

タイマー運転停止 (キャンセルする場合)

リモコン表示



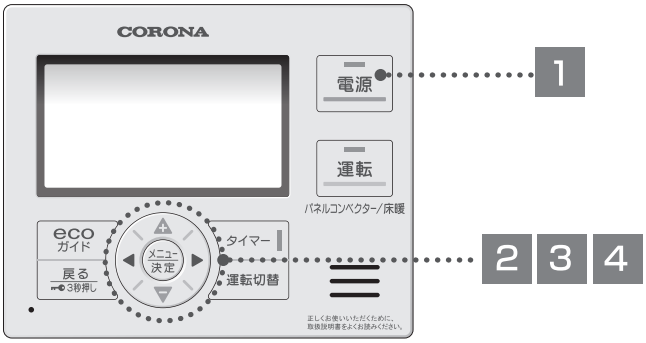
3 タイマー を押す。

- スイッチを押すごとに「タイマー1運転」、「タイマー2運転」、「OFF(タイマー時間表示が消灯する)」に切替わるため「OFF」に設定する。
- タイマーランプが消灯します。

お知らせ

- タイマー運転中でも、温水温度設定ができます。
- タイマー運転中も運転「ON」「OFF」できます。
- 電源が「ON」であれば、「運転中」「停止」ともにタイマー設定ができます。

■タイマー運転時刻の設定



1 電源 を押す。

●リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ(緑)が点灯します。

2 メニュー決定 を押して、▲▼◀▶で、「タイマー1設定」または「タイマー2設定」を選び メニュー決定 を押す。

●メインメニューで、「タイマー1設定」または「タイマー2設定」を選びます。

3 ▲▼で、「運転」、「節約」、「停止」のいずれかを選びます。選んだモードで、▶でサークルタイマー上を進んでください。

●タイマー設定の開始時間は0:00からスタートします。
●表示されている運転モードに変更のない部分は▲▼で「変更せず」を選択し、▶で変更したい時間まで送ってください。

[24 時間の間で、下記の時間帯で運転する場合の例]

0:00～ 6:00——「停止」
6:00～13:00——「通常運転」
13:00～18:00——「停止」
18:00～ 0:00——「節約運転」

[設定手順]

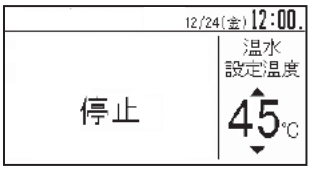
⑴0:00～6:00まで停止させる場合
最初に0:00～が停止となっている場合は、▲▼で「変更せず」を選択し、▶で0:00～6:00までを停止とする。

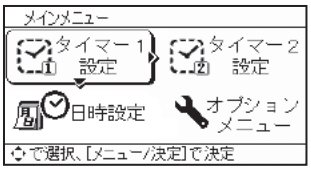
⑵次に6:00～13:00まで通常運転させる場合
▲▼で「運転」を選択し、▶で6:00～13:00まで運転とする。

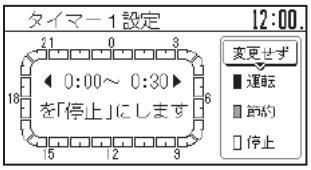
⑶次に13:00～18:00まで停止させる場合
▲▼で「停止」を選択し、▶で13:00～18:00まで停止とする。

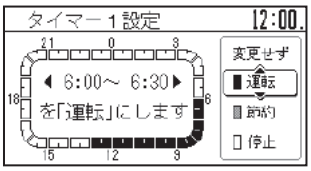
⑷次に18:00～0:00まで「節約」で運転させる場合
▲▼で「節約」を選択し、▶で18:00～0:00まで節約とする。

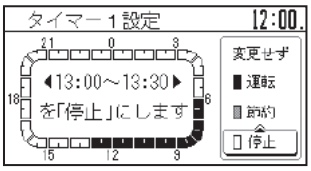
リモコン表示

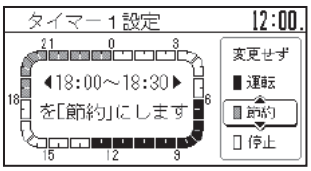




(1)


(2)


(3)


(4)


※タイマー1設定で説明

4 全ての時間帯の運転モードを設定したら、メニュー決定 を押して、設定完了させます。

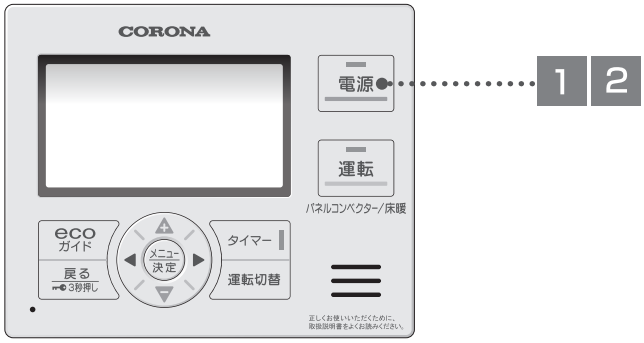
● メニュー決定 を押さないと、タイマー運転時刻は設定完了されません。
2分以内に メニュー決定 を押さないと、タイマー運転時刻は変更前に戻り、通常運転時の画面に戻ります。
●通常の運転画面に戻るとき、戻る 3秒押し を押してください。

お知らせ

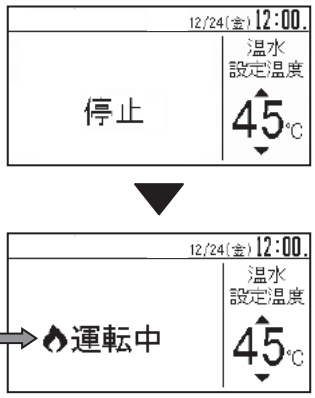
●タイマー運転時刻を再設定する場合は、上記 1 ～ 3 と同様に設定変更してください。
●初めて設定する場合は、すべての時間帯が「停止」に設定されています。

■外部入力運転、E-CON信号運転（放熱器などによる自動運転）

- 放熱器などの外部入力信号、E-CON信号による自動運転ができます。
- 放熱器などの取り扱いはそれぞれの説明書にしたがってください。



リモコン表示



自動運転開始

1 電源 を押す。

- リモコンの電源が「ON」となり、電源ランプ（緑）が点灯します。
- 外部入力運転、E-CON信号運転（放熱器などによる自動運転）の待機になり、外部入力信号、E-CON信号を検出すると自動運転を開始し、「運転中」を表示します。
- バーナの燃焼が始まると🔥（燃焼マーク）が表示されます。

自動運転停止

2 電源 を押す。

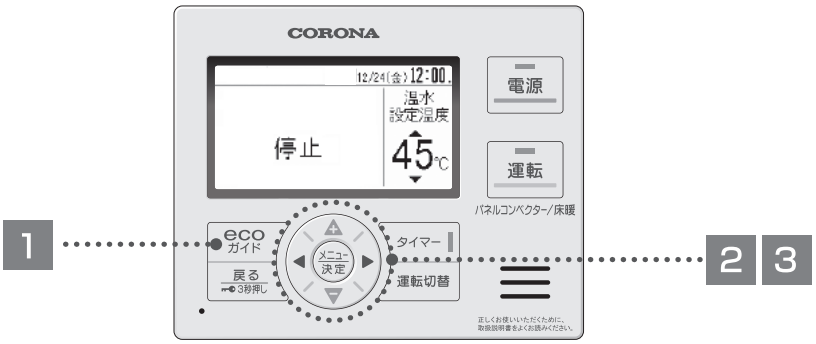
- 電源ランプの消灯、およびリモコン表示が消え、運転を停止します。

お知らせ

- 長時間ご使用にならない場合は、リモコンの 電源 を押して、電源を切ってください。（電源ランプも消灯します）
- 自動運転を停止した後に再度自動運転を開始させる場合は 電源 を押してください。

●リモコンの電源を「ON」にしてから〔ecoガイド〕を操作してください。

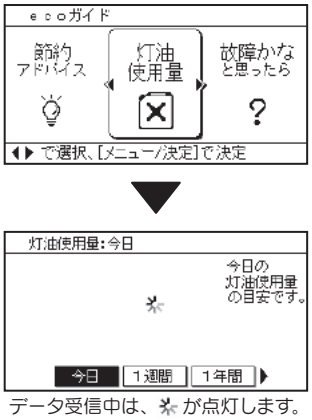
■ecoガイドを使う〔灯油使用量（目安として表示しています）〕



リモコン表示

1 eco ガイド を押して、◀▶ で「灯油使用量」を選び、メニュー 決定 を押す。

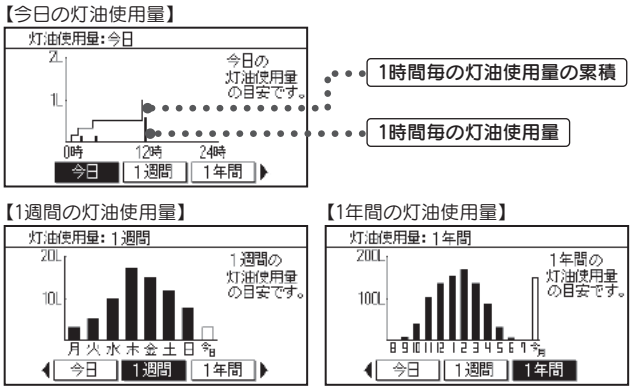
●「ecoガイド」で「灯油使用量」を選びます。



データ受信中は、✳が点灯します。

2 ◀▶ で灯油の使用量「今日、1週間、1年間」を選びます。

● ◀▶で「今日」「1週間」「1年間」を切り替えることができます。



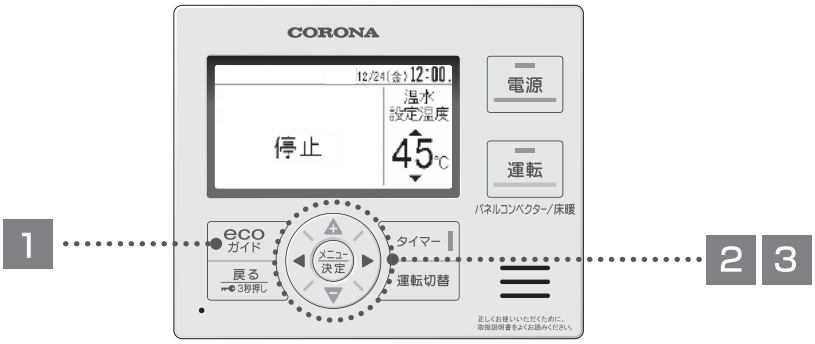
3 メニュー 決定 を押して終了する。

●通常画面に戻ります。

お知らせ

●表示する灯油使用量は、めやすです。使用状況によって実際の灯油使用量と異なる場合があります。
●長時間停電したり、電源プラグをコンセントから抜いたままにしておくと、灯油使用量のデータが消える場合があります。
●電源が「ON」であれば、「運転中」「停止」ともに「灯油使用量」を確認できます。

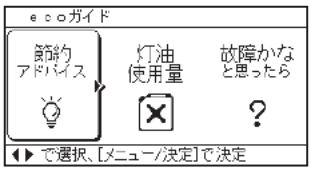
■ecoガイドを使う〔節約アドバイス〕



リモコン表示

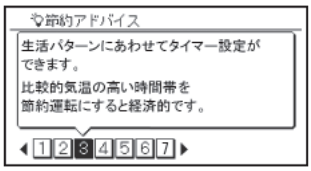
1 eco ガイド を押して、◀▶ で「節約アドバイス」を選び、メニュー 決定 を押す。

- 「ecoガイド」で「節約アドバイス」を選びます。



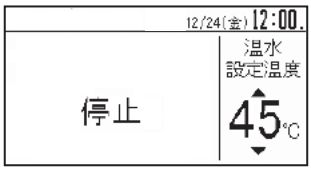
2 ◀▶ を押して、節約アドバイスを表示する。

- 使い方のアドバイスを表示します。



3 メニュー 決定 を押して終了する。

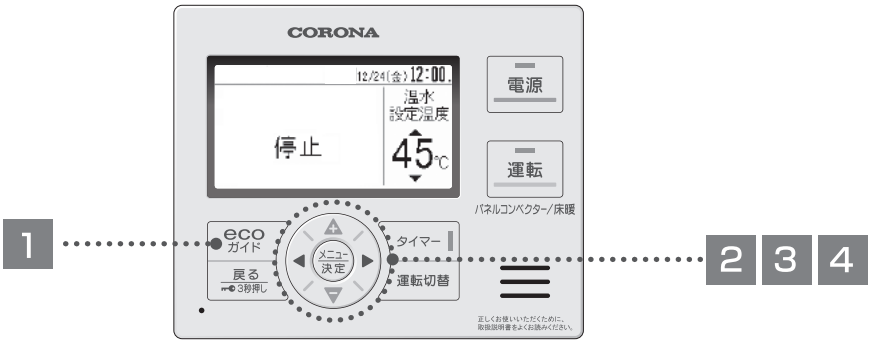
- 通常画面に戻ります。



お知らせ

- 電源が「ON」であれば、「運転中」「停止」ともに「節約アドバイス」を確認できます。

■ecoガイドを使う〔故障かなと思ったら〕



1 eco ガイド を押して、◀▶で「故障かなと思ったら」を選び、メニュー 決定 を押す。

- 「ecoガイド」で「故障かなと思ったら」を選びます。

2 ▲▼ を押して、よくある質問を選び、メニュー 決定 を押す。

- よくあるご質問を表示します。
- 詳しくは37ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」をお読みください。

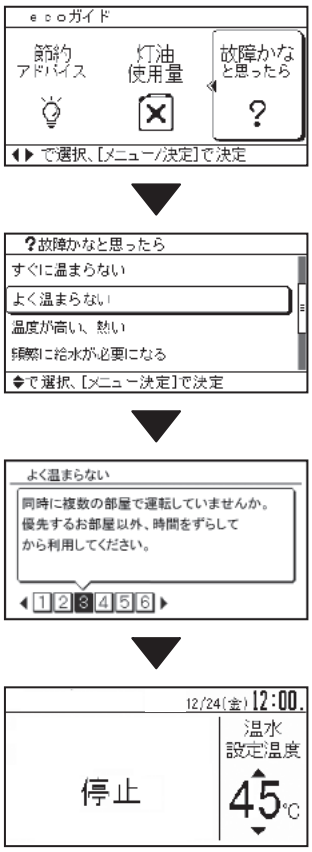
3 ◀▶ を押して、処置方法を表示する。

- 処置方法のアドバイスを表示します。

4 メニュー 決定 を押して終了する。

- 通常画面に戻ります。

リモコン表示

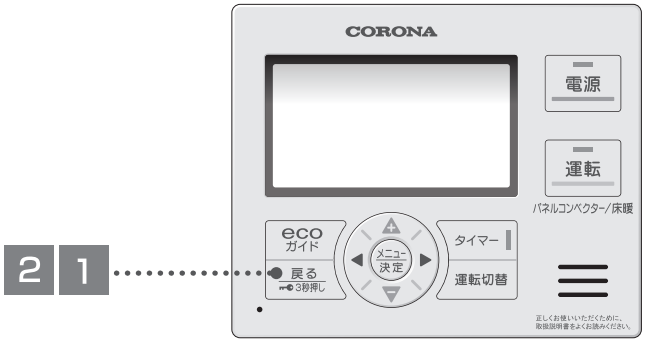


お知らせ

- 電源が「ON」であれば、「運転中」「停止」ともに「故障かなと思ったら」を確認できます。

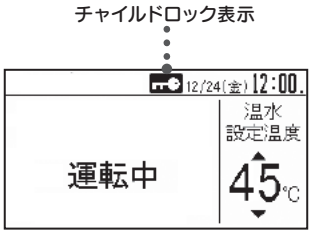
■チャイルドロック機能について

- お子様などによるいたずら操作の防止や、誤操作を防止したい時に使用します。
- チャイルドロックは、電源スイッチがON/OFFに関係なく、設定ができます。



リモコン表示

チャイルドロックを設定するとき



1 戻る 3秒押し を3秒以上長押しする。（発信音 ピッ）

- チャイルドロックが設定され、表示部に マークが表示されます。
- チャイルドロック中は電源スイッチ以外のスイッチ操作をした場合、ピピー と発信音がして、操作を受け付けません。

チャイルドロックを解除するとき

2 チャイルドロック中（ マーク表示中）に 戻る 3秒押し を3秒以上長押しする。（発信音 ピピッ）

- マーク表示が消え、チャイルドロックが解除されます。

■メニューの種類と設定方法

1 メニュー決定を押す	2 ▲▼◀▶で項目を選び、メニュー決定を押す。	3 ▲▼◀▶で項目を選び、メニュー決定を押す。	参照ページ
■メインメニュー メインメニュー タイマー1設定 タイマー2設定 日時設定 オプションメニュー で選択、[メニュー/決定]で決定	■タイマー1設定 タイマー1設定 12:00 18:00〜18:30を[節約]にします 変更せず 運転 節約 停止	タイマー1設定 12:00 設定されました	17
	■タイマー2設定 タイマー2設定 12:00 23:30〜 0:00を[節約]にします 変更せず 運転 節約 停止	タイマー2設定 12:00 設定されました	
	■日時設定 日時設定 2018年 1月 1日 8:12 で選択、[メニュー/決定]で決定	【現在時刻の合わせ方】 ●現在の時刻を合わせます。 日時設定 2018年 1月 1日 8:15 設定されました	13
【高機能リモコン】 CORONA 電源 運転 eco ガイド タイマー 戻る 3秒押し 運転切替 パネルコンパクター/床暖 1 2 3	■オプションメニュー オプションメニュー 表示設定 消灯時間設定 操作音設定 リモコン画面の明るさ・コントラストを設定します。 で選択、[メニュー/決定]で決定	【表示設定】 ●リモコン画面の明るさ･コントラストを設定します。 表示設定 明るさ コントラスト 3 0 で選択、[メニュー/決定]で決定	―
		【消灯時間設定】 ●リモコンを使用していないときに、表示（バックライト）が消灯するまでの時間を設定します。 消灯時間設定 リモコンを使用していないときに表示が消灯するまでの時間を設定します。 1分 で選択、[メニュー/決定]で決定	
		【操作音設定】 ●リモコンの操作音の有無を設定します。 操作音設定 リモコンの操作音の有無を設定します。 あり なし で選択、[メニュー/決定]で決定	

■オプションメニュー一覧

設定項目	設定内容	選択範囲（■はお買いあげ時の設定）	
表示設定	リモコン画面の明るさ･コントラストを設定します。	【明るさ】 1 〜 3 〜 5 （1刻み）	【コントラスト】 −7 〜 0 〜 +7 （1刻み）
消灯時間設定	リモコンを使用していない時に表示（バックライト）が消灯するまでの時間を設定します。	1分 10分 25分 60分 常時点灯	
操作音設定	リモコンの操作音の有無を設定します。	あり なし	

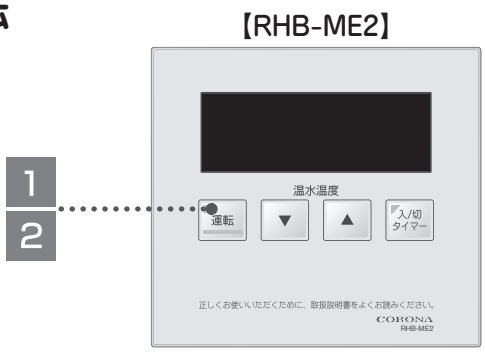
オプションメニューを終了するとき

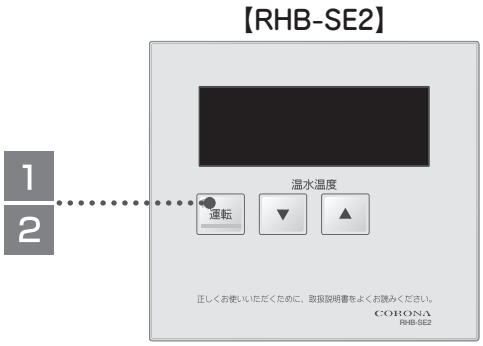
戻る 3秒押し を数回押す。

●通常画面に戻ります。

シンプルリモコン【RHB-ME2】, 増設リモコン【RHB-SE2】

■通常運転

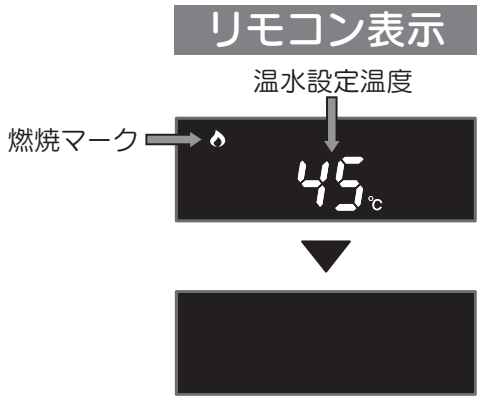




運転開始

1 運転 を押す。

- 運転ランプ(緑)、温水設定温度が点灯し、通常運転を開始します。
- バーナの燃焼が始まると🔥(燃焼マーク)が表示されます。



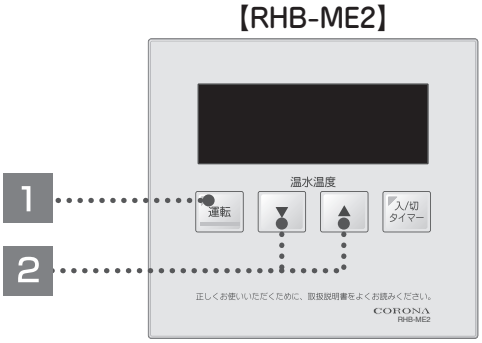
運転停止

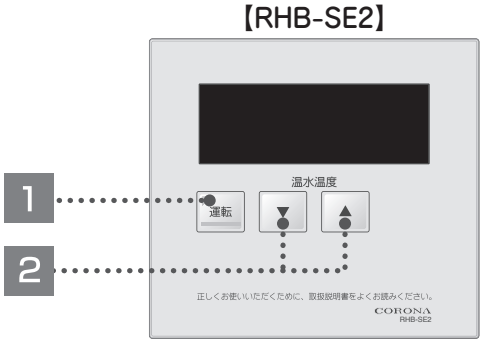
2 運転 を押す。

- 運転ランプが消灯し、表示部の表示が消え、通常運転を停止します。

■温水温度設定（温度を変更したいとき）

- 温水温度をお好みの温度に設定します。
- ▼ ▲ で、30～80℃まで1℃きざみで設定できます。
- お買いあげ時の温水温度の設定は、45℃になっています。



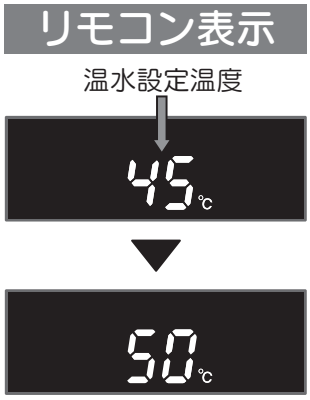


1 運転 を押す。

- 運転ランプ(緑)、温水設定温度が点灯します。

2 ▼ ▲ を押し温水温度の設定をする。

- 1回押すごとに、1℃ずつ変わります。

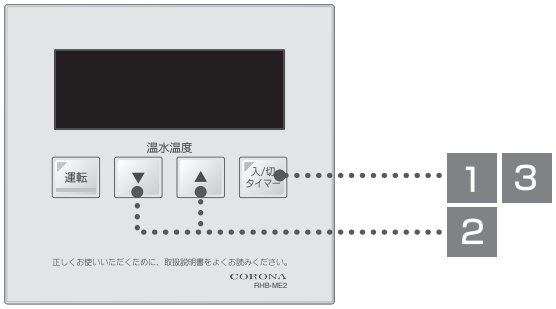


■入/切タイマー運転【RHB-ME2のみ設定できます】

【入タイマー】：設定した時間が経過すると運転を開始します。お買いあげ時は6時間後に設定されています。
【切タイマー】：設定した時間が経過すると運転を停止します。お買いあげ時は1時間後に設定されています。

【入タイマーの設定】

【RHB-ME2】

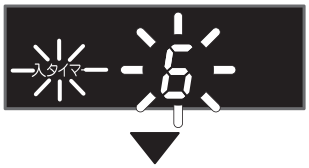


リモコン表示

1 運転「OFF」時に 入/切タイマー を押す。

- 入/切タイマーランプ(橙)、「入タイマー」「設定時間」表示が点滅します。

【確定前の表示（点滅）】



2 ▼ ▲ を押し入タイマー時間を設定する。

- 1時間単位で設定することができます。
  (1時間後～24時間後の範囲で設定できます)

【設定確定時の表示（点灯）】

3 入/切タイマー を押す。

- 入タイマー設定時間が確定され、運転開始までの時間を表示します。
- 入/切タイマーランプ(橙)、「入タイマー」表示が点滅から点灯になります。
  (入/切タイマースイッチを約5秒放置でも表示が点灯になります)
- 設定時間が経過すると運転を開始し、「入/切タイマーランプ」が消灯し「入タイマー」表示が消えます。(温水設定温度表示に替わります)
- バーナの燃焼が始まると🔥(燃焼マーク)が表示されます。

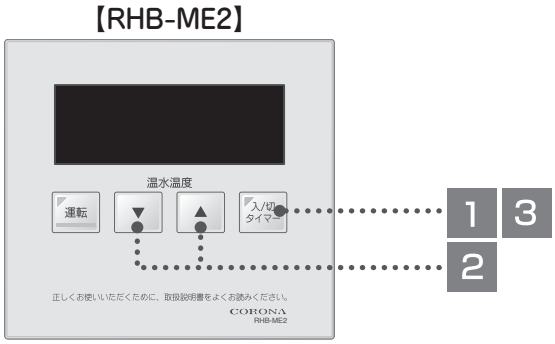
【運転開始時の表示】

燃焼マーク

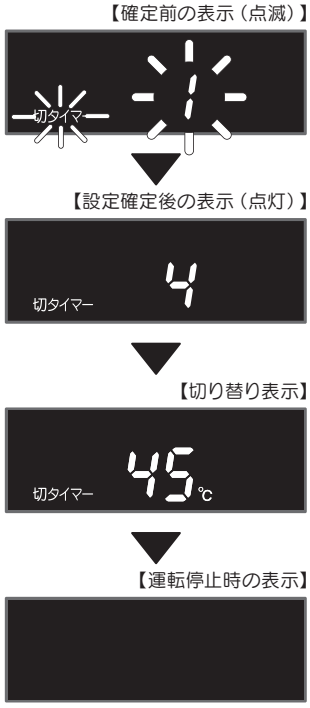
お知らせ

- 入タイマーセット中に 入/切タイマー を押す、または 運転 を押して(「温水設定温度」を表示)運転を開始すると入タイマーを解除し、「入/切タイマーランプ」が消灯し、「入タイマー」表示が消えます。

【切タイマーの設定】



リモコン表示



1 運転「ON」時に 入/切タイマー を押す。

- 入/切タイマーランプ（橙）、「切タイマー」、「設定時間」表示が点滅します。

2 ▼ ▲ を押し、切タイマー時間を設定する。

- 1時間単位で設定することができます。
（1時間後～24時間後の範囲で設定できます）

3 入/切タイマー を押す。

- 切タイマー設定時間が確定され、約5秒後に温水設定温度表示に替わります。
（入/切タイマースイッチを約5秒放置でも表示が点灯になります）
- 設定時間が経過すると運転を停止し、「入/切タイマーランプ」が消灯し「切タイマー」、「温水設定温度」表示が消えます。

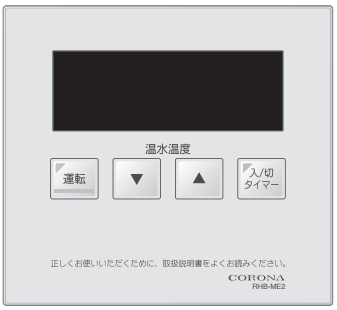
お知らせ

- 切タイマーセット中に 入/切タイマー を押す、または 運転 を押して（「温水設定温度」表示が消える）運転を停止すると切タイマーを解除し、「入/切タイマーランプ」が消灯し、「切タイマー」表示が消えます。

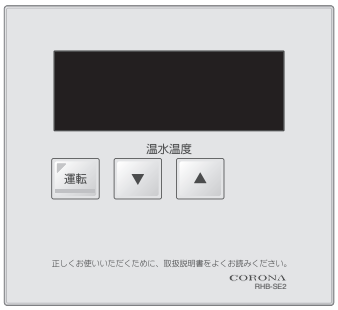
■外部入力運転、E-CON信号運転（放熱器などによる自動運転）

- 放熱器などの外部入力信号、E-CON信号による自動運転ができます。
- 放熱器などの取り扱いはそれぞれの説明書にしたがってください。

【RHB-ME2】

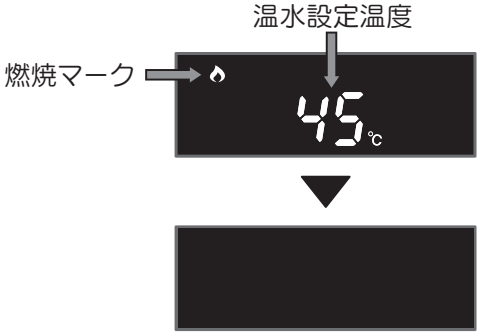


【RHB-SE2】



自動運転開始

リモコン表示



放熱器側で運転操作する。

- 外部入力信号、E-CON信号を検出すると自動運転を開始し、温水設定温度を表示します。
  〔運転ランプ（緑）は点灯しません。〕
- バーナの燃焼が始まると🔥（燃焼マーク）が表示されます。

自動運転停止

放熱器側で停止操作する。

- 温水設定温度表示が消え、自動運転を停止します。

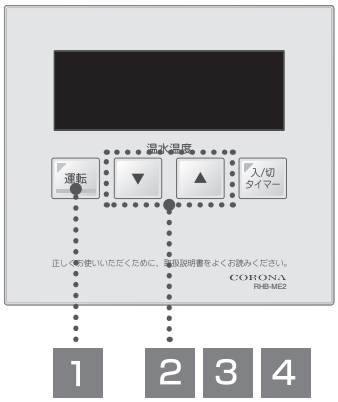
お知らせ

- リモコンの 運転 を3秒以上押し続けると「温水設定温度」表示が消え、自動運転が停止します。
  再度自動運転を開始させる場合は、すべての放熱器の運転スイッチを一旦切って再度入れ直してください。

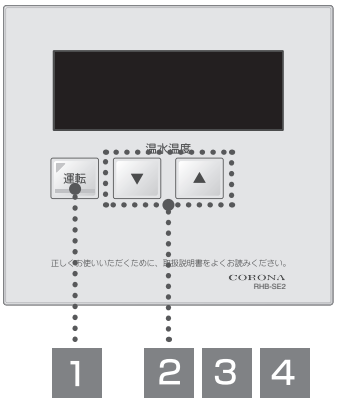
■操作音設定

- リモコンの操作音あり（on）／なし（oF）の設定ができます。
- お買いあげ時の設定は、操作音あり（on）になっています。

【RHB-ME2】



【RHB-SE2】



■操作音なし（oF）に設定する場合

1 運転 を「切」にする。

- 運転ランプが消灯します。

2 ▼ ▲ を同時に3秒以上長押しする。

- シンプルリモコン接続時は「11」が点滅します。
  ▼ を押すごとに「11」⇔「E」と切り替わります。
- 増設リモコン接続時は「31」が点滅します。
  ▼ を押すごとに「31」⇔「E」と切り替わります。

3 「11」点滅中に ▲ を押す。（シンプルリモコンの場合）

- ▲ を押すごとに「on」⇔「oF」と切り替わります。

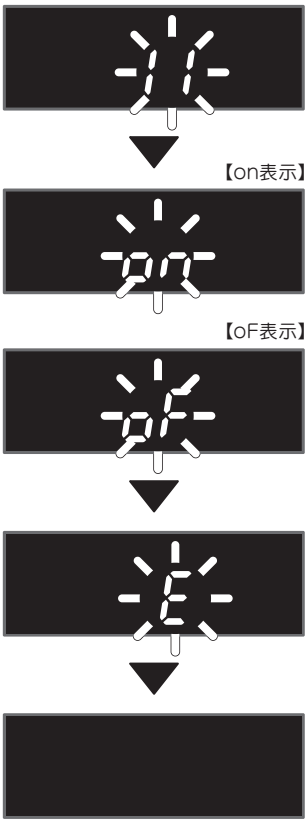
4 「oF」点滅中に ▼ を押して「E」を点滅させ、

▲ を押すと設定完了です。

- 「oF」点滅中に ▼ を押さなくても約10秒放置で設定されます。
- 設定されると表示が消えます。

リモコン表示

【シンプルリモコンの表示】



使用方法

凍結予防（循環液の注入）

凍結予防および腐食防止のため、温水経路内および半密閉タンク内に必ずコロナ床暖房用循環液（別売部品：UPF-N20N・N22・N52・G10）を入れてください。
指定以外（他社銘柄など）の循環液による故障は、保証期間内でも保証の対象となりません。

循環液の注意事項

- コロナ床暖房用循環液は凍結予防の他に暖房システムに使用される機器（ボイラ・床暖パネル・コンベクターなど）の防錆効果を目的に作られた循環液です。
- UPF-N20N・N22・N52は、−20℃まで凍結しないように調合されていますので、水と混合せずにそのままシステムに注入してください。水で薄めると、防錆・防食効果および凍結予防効果が阻害されます。
  使用中の自然蒸発に対する補給は、専用補充液を注入してください。
  （液漏れの場合は循環液を注入してください）
- UPF-G10は高濃度タイプですので、濃度を水で調整して使用ください。
- 他社銘柄の防錆剤、不凍液（特に車両用など）を使用したり、混合したりしますと防錆効果が発揮されず機器の耐久性がそこなわれたり、釜なり音が発生することがあります。
  また、粘性があわずポンプの性能が十分発揮されなかったり、沸騰してしまうことがあります。
- 保管する場合は、表示のある容器に密閉し、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 飲用しないように、取り扱いには十分注意してください。万一飲んだ場合には、すぐ吐かせて医師の診断を受けてください。皮膚や衣服に付着した時は、よく洗い流してください。
- 機器に付着した時は、すぐにふきとってください。
- 循環液は、3年を目安に入れ替えてください。（開封した循環液も含みます）
  交換せずに使用した場合、防錆効果および凍結予防効果が低下し、機器に悪影響をおよぼす恐れがあります。
  循環液の劣化が原因の機器の故障は、保証期間内でも保証の対象となりません。
- 循環液は、常温では引火しませんが、加熱されたものの上などにかかると引火することがありますので、取り扱いには十分注意してください。

使用上の注意

■やけどに注意

- **⚠注意 燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などをふれないでください。やけどのおそれがあります。**

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

■リモコンについて

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- リモコンに水をかけないでください。故意に水をかけると故障の原因になります。
- 必要に応じてチャイルドロックを使用してください。（⇒22ページ）

■油切れに注意

- 油タンクを空にしないように注意してください。

■凍結予防について

- 当社純正部品の循環液を必ず使用してください。

■循環液の飲用厳禁

- 循環液は幼児の手の届かない場所に、保管してください。
  万一、飲んだ場合は吐かせて、医師の診断を受けてください。

長期間使用しないとき（シーズンオフ）

長期間使用しないときは、次の処置をしてください。

- 油タンクの送油バルブを閉めてください。
- 電源スイッチまたは運転スイッチを「**OFF**」にし、電源プラグを抜いてください。
- 半密閉タンクに上限水位まで補充液（コロナ床暖房専用補充液）を補給しておいてください。

〔半密閉式システムのとき〕

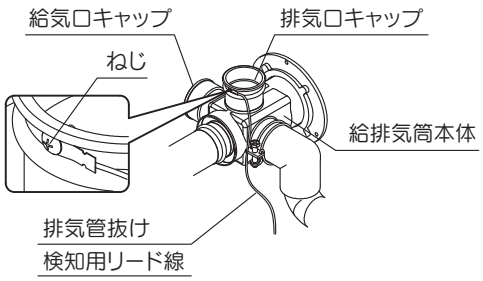
※別売部品の「密閉配管セット」または「エア抜き弁セット」を使用の場合は循環液の蒸発はありません。

〔密閉式システムのとき〕

5 安全装置

安全装置の名称	作動原因と作動結果	処置方法
対震自動消火装置	地震（震度約５以上）や強い振動、衝撃を受けたとき作動 ▼ 運転停止	●地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、液漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから再び運転操作をしてください。
点火安全装置 ・ 燃焼制御装置	燃焼が完全に開始されないとき、または万一炎が立消えになったときに炎検知器（フレームロッド）が感知して作動 ▼ 運転停止	●油切れのときは給油してください。 ●油切れ以外の場合は電源スイッチまたは運転スイッチを「**OFF**」にして、お買いあげの販売店に連絡してください。
停電安全装置	停電したときや電源プラグが抜けたときに作動 ▼ 運転停止	●通電後、再び運転操作をしてください。
過熱防止装置	温度調節回路に故障が発生し、熱交換器内の液温が異常に上昇したときに作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。

6 その他の装置

装置の名称	作動原因と作動結果	処置方法
送風機回転検知	送風機の回転異常があったとき作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
熱交換器過熱防止装置 ・異常停止サーモ	熱交換器の温度が異常に上昇したときに作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
電流ヒューズ (15A、6A)	内部配線のショートなどで過電流が流れたときに作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
温度ヒューズ (99℃)	サーミスタや本体基板の故障、空だきなどにより機器内の温度が異常に上昇したとき作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
排気管抜け検知装置 (該当機種：屋内用 FF)	●排気管の接続部がはずれたとき ●排気管抜け検知用リード線がはずれたり、断線したとき ●ストッパーリングが正しく取り付けられていないとき ▼ 運転停止	●給排気筒および排気管の接続部に、はずれ、ゆるみがないか確認してください。 ●排気管抜け検知用リード線のゆるみ、またははずれ、切れがないか確認してください。  ●ストッパーリングが正しく取り付けられているか確認してください。 ●お買いあげの販売店に連絡してください。
油切れ検知装置	●油タンクの灯油がなくなったとき ●油タンクの送油バルブが閉じているとき ▼ 運転停止	●油タンクに給油してください。 ●油タンクの送油バルブを開けてください。
油面異常検知装置	●レベラタンク内の油面が上限を超えたとき ▼ 運転停止	●お買いあげの販売店に連絡してください。

使用方法

7 日常の点検・手入れ

■点検・手入れのときの注意

- ●リモコンの電源スイッチ（RHB-MD2）または運転スイッチ（RHB-ME2）を「OFF」にして、機器が冷えてからおこなってください。やけどのおそれがあります。
- ●電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●手袋などの保護具を着用し、金属部に十分注意してください。けがの原因になることがあります。
- ●電気部品は絶対に分解しないでください。
- ●異常があるときはお買いあげの販売店に連絡してください。

■点検、手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- ●**⚠注意 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。**

2. ほこり（日常）

- ●機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。清掃の際は吹出口などの端面で手を切らないように注意してください。
- ●電源プラグにほこりがたまっている場合は、除去してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- ●送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。

4. 循環液漏れ（日常）

- ●機器内部や温水配管、放熱器接続部などから循環液漏れがないか時々確認してください。

5. アース（日常）

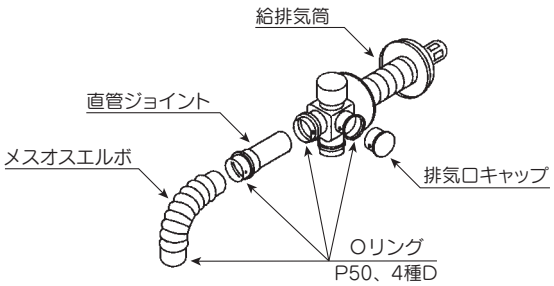
- ●アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

6. 吹出口の周囲（日常）〔該当機種：屋外用 M〕

- ●吹出口付近は囲いなどをしないでください。排ガスが再環流し、故障の原因になります。
- ●吹出口に落ち葉などがつまっていないか確認してください。つまっている場合は取り除いてください。

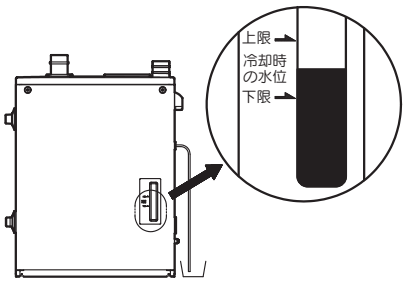
7. 給排気筒の接続部のゆるみおよびトップの周囲（日常）〔該当機種：屋内用 FF〕

- ●**⚠警告 給排気筒（管・ホース）がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。**
- ●**⚠警告 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。**
- ●給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。
- ●給排気筒を1度取りはずして、再び取り付けるとき、排気管の接続部内部にはめ込んであるOリングが破損していないか確かめてください。破損していた場合は、お買いあげの販売店に交換を依頼してください。
- ●給排気筒および排気管接続のはずれ、排気管抜け検知用リード線がはずれまたは、断線していないか点検してください。
- ●給排気筒トップに吹雪などで積もった雪は取り払ってください。



8. 半密閉タンクの水位（1ヶ月に1回以上）〔半密閉システムのとき〕

- 半密閉タンク内の循環液は少しずつ蒸発します。１カ月に１回程度は循環液水位点検窓を確認し、規定水位以下の場合はその都度、専用補充液（コロナ床暖房専用補充液）を補給してください。（機器停止後、循環液が冷えた状態で確認）
- 循環液は、冷却時必ず上限～下限の間に保ってください。



専用補充液の補給方法

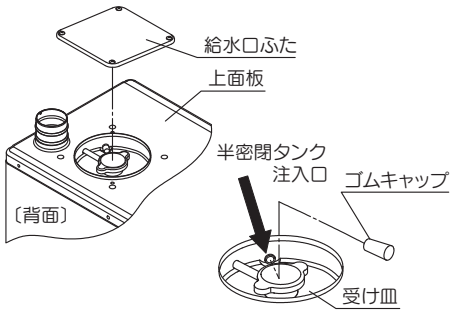
- 必ず機器が冷えてからおこなってください。

①給水口ふたをはずしてください。（ねじ４ヵ所）

②半密閉タンク注入口に差し込んであるゴムキャップをはずし、受け皿から専用補充液を循環液水位点検窓「上限」まで入れてください。

〔循環液水位点検窓「上限」以上入れますと、運転時半密閉タンクより膨張分の循環液があふれ出ることがあります。〕

③補給が終わりましたら、元通りゴムキャップを半密閉タンク注入口に押し込んで栓をし、受け皿に残った専用補充液、循環液は布きれなどでふきとってください。



- 自然蒸発に対する補給には、循環液（コロナ床暖房用循環液）は使用しないでください。濃度が高くなり、故障の原因となる場合があります。

9. 油タンク（水抜きを含む）（1ヶ月に１回以上）

- 油タンク内には、空気中の水分が結露して水がたまります。多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

10. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

- オイルフィルタにゴミや水がたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

11. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- **⚠注意 ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。**
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認し、ひび割れなどの異常があるときは交換してください。交換の目安は2～3年に１度です。

12. 銅パイプ（送油管）の点検、交換の目安

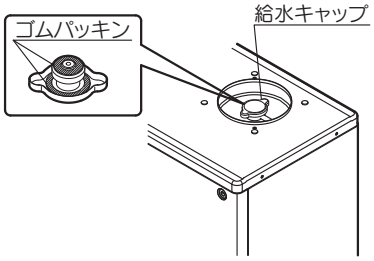
- 銅パイプ（送油管）は年に１回以上点検し、変形、ひび割れがないか確認し、欠点のあるときは交換してください。

13. リモコンのお手入れについて

- リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って軽く拭き取ってください。
- リモコンのお手入れには、洗剤およびベンジン、シンナー、みがき粉、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。
  変色や変形、キズがつく場合があります。

14. 給水キャップの点検

- ⚠ 注意 運転中や停止直後に給水キャップをはずさないでください。循環液が飛び散ってやけどをするおそれがあります。
  シーズン初めには給水キャップをはずし、給水キャップのゴムパッキンが循環回路注入口に貼りついたり、ひび割れしたり劣化していないことを確認してください。ゴムパッキンが貼りついたり、ひび割れしたり劣化しているときは、使用を中止しお買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口に給水キャップの交換を依頼してください。
- 密閉配管セット（別売部品）を使用した配管システムとしてご使用のときは、給水キャップの点検は不要です。



15. システム圧力の確認…密閉配管セット　（別売部品：UHB-NM4）
エア抜き弁セット（別売部品：UHB-NM5）を使用の場合

- 密閉配管セット、エア抜き弁セットを使用の場合は循環液の蒸発はありませんが、念のため1ヶ月に１回程度は、温水配管システムに取り付けてある圧力計が規定圧力（コロナ純正の膨張タンクを使用の場合は40kPa）であることを確認してください。
  規定圧力以下の場合は販売店に連絡してください。

8 定期点検

■定期点検のおすすめ（有料）

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、１年に１回程度、お買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

9 設計上の標準使用期間

■本製品の設計上の標準使用期間について

- 本製品の設計上の標準使用期間は、10年と算定しています。
- 点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）により、リモコンの表示部に 88 を表示します。
- 設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件のもとで適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として、製品ごとに設定されるものです。
  取扱説明書に記載の保証書による保証期間とは異なりますのでご注意ください。

＜設計上の標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計上の標準使用期間は、一般社団法人 日本ガス石油機器工業会発行の自主基準石029（石油温水熱源機の標準使用条件、標準加速モードおよび試験条件）に基づき、以下の使用条件を想定し、当社において耐久試験などをおこなった結果算出された数値などに基づき経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を設計上の標準使用期間としています。

＜温水ボイラの標準使用条件＞

地域	寒冷地	準寒冷地
端末機	温水式パネルヒーター	温水ルームヒーター
季節	冬期	冬期
1日使用時間	17時間40分	10時間40分
1年使用日数	188日	153日
電源電圧／周波数	100V／50Hz、60Hz	100V／50Hz、60Hz

＜ご注意ください！＞

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使いいただいた場合などにおいては、設計上の標準使用期間よりも短期間で製品が経年劣化し、安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。この場合は点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）により点検告知時期が設計上の標準使用期間とずれることがあります。
- 製品を目的以外の用途に使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化などによる重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願い致します。

■本製品の点検に関するお問い合わせは、下記へ連絡ください

- 弊社 お客様ご相談窓口
  コロナサービスセンター（受付時間：365日24時間受付）
  TEL　　：フリーダイヤル　0120-919-302
  携帯電話　PHS：ナビダイヤル　　0570-550-992（ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります）

＜点検料金について＞

- 点検料金はお客様にご負担いただくことになります。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用が発生いたします。

＜補修用性能部品について＞

- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、7年です。

■日常の点検・手入れ

- 製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全点検をおこなって頂くようお願いいたします。詳しくは本書の「日常の点検・手入れ（33～35ページ）」の項をご覧ください。
- また、定期的な点検（任意）を受けられることをおすすめします。詳しくは本書の「定期点検（35ページ）」の項をご覧ください。

10 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- 万一具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- 原因のわからないときや処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口（本書46ページに記載）にご連絡ください。

	現　　象	原　　因	処置・説明
運転開始	電源スイッチを入れても電源ランプが点灯しない。(高機能リモコン) 運転スイッチを入れても運転ランプが点灯しない。(シンプルリモコン)	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		電源の元スイッチ(ブレーカ)が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にしてください。
		停電している。	通電するまでお待ちください。
	タイマースイッチを押しても燃焼しない。	タイマーの運転時間でない。	タイマー運転時刻を確認してください。
	リモコンに【給油】 【エラー 1,11,12,13】 を表示する。	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、再び運転操作をしてください。
		油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き(11ページをお読みください)をしたのち、再び運転操作をしてください。
		上記の処置をおこなってもエラー表示が出る場合は、油タンクの送油バルブを閉め販売店に連絡してください。	
	リモコンに【エラー2】を表示する。	「対震自動消火装置の作動」 地震(震度約５以上)や強い振動、衝撃を受けた。	地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、液漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから、再び運転操作をしてください。
	すぐに温まらない。	運転開始後、循環液が設定温度になるまで時間がかかることがあります。	タイマーによる予約運転をおすすめします。
	本体が勝手に運転/停止する。	タイマー運転が設定されている。	タイマー運転時刻を確認する。 (16 ページをお読みください)
燃焼中	よく温まらない。 （温水が高温にならない）	温水配管に設けたバルブが閉まっている。	バルブを開いてください。
		温水経路がゴミづまり、つぶれなどで循環液が流れない。	販売店に連絡してください。
		半密閉タンク内の循環液が少なくなっている。	34 ページの「専用補充液の補給方法」を参照、または販売店に連絡してください。
		温水温度設定のミス（低い）	使用方法の「温水温度設定」をお読みください。
	温水が低温にならない。	温水温度設定のミス（高い）	
	温度が高い、熱い。		
	温度変更していないのに床面温度が変化。	半密閉タンク内の循環液が少なくなっている。	34 ページの「専用補充液の補給方法」を参照、または販売店に連絡してください。
	気水分離器で循環液の流れる音がする。		
	循環ポンプから金属音がする。		
	頻繁に循環液の補給が必要になる。	配管から漏れている。	販売店に連絡してください。
	運転中にゴボゴボ音がする。	配管内に空気が混入している。	
	燃焼音が異常。	販売店に連絡してください。 ⚠警告 ●このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止して販売店に連絡してください。	
	ススを出して燃えている。		
油漏れしている。			
給排気筒がはずれている。(該当機種：FF)			
液漏れしている。		販売店に連絡してください。 ⚠注意 ●このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止して販売店に連絡してください。	
アース線が切れている。 アースがない。			

モニターサインによる見分け方

●リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
●販売店に連絡していただく際は、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。

■モニターサインを表示して全停止したとき

表示	原因	処置方法
1	油切れ検知装置作動	油切れの確認をしてから給油してください。 油切れ以外の場合は、油タンクの送油バルブを閉め販売店に連絡してください。
2	対震自動消火装置作動	地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、液漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから再び運転操作をしてください。
3	初期循環液不足	使用を中止して販売店に連絡してください。
10	疑似火炎、フレームロッド短絡故障	
11	不着火、フレームロッド断線故障	油切れの確認をしてから給油してください。 油切れ以外の場合は、油タンクの送油バルブを閉め販売店に連絡してください。
12	途中消火、フレームロッド断線故障	
13	途中消火、フレームロッド断線故障	
14	ポットサーミスタ断線、ポットヒータ断線	使用を中止して販売店に連絡してください。
15	ポットサーミスタ温度異常 ポットサーミスタ短絡	
18	本体基板故障	
19	空気サーミスタ断線	
20	空気サーミスタ短絡	
21	油面異常検知装置作動※	
22	循環ポンプ回転異常	
23	送風モータ回転異常	
29	排気管抜け検知装置作動（屋内用FFのみ）	
30	缶体サーミスタ断線	
31	缶体サーミスタ短絡、ハイリミット作動	
32	異常停止サーモ作動	
E1	リモコン通信異常、リモコンコード配線不良	

※ ブザーが10分ごとに鳴りますので、音を消したい場合は、運転スイッチを1回押してください。

■モニターサインを表示するが運転可能なとき

表示	原因	処置方法
給油	給油検知	油タンク内の灯油が少なくなりました。 早めに給油してください。（別売部品のOC-2取付時）
24	データ未入力	このまま使用を続けると修理ができなくなる場合がありますので、販売店に連絡してください。
88	点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）報知	「■ 88 表示点検時期お知らせ機能について（⇒39ページ）」を参照して点検（有料）をおすすめします。

上記以外のモニターサインが表示した場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。

モニターサインによる見分け方

■ 88 表示　点検時期お知らせ機能について

- 本製品には点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）が搭載されています。
- 使用期間が10年（相当）使用経過後（設計上の標準使用期間相当）になったら、表示部に 88 を表示してお知らせします。経年劣化による重大事故を防止するために、点検（有料）をおすすめします。使用状況によっては点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）による点検告知時期が設計上の標準使用期間とずれることがあります。
- 故障ではありませんのでご使用できます。
- 弊社 お客様ご相談窓口：コロナサービスセンターに連絡してください。
  点検のご案内をさせていただきます。（受付時間：365日24時間受付）
  TEL　　：フリーダイヤル　0120-919-302
  携帯電話　PHS：ナビダイヤル　　0570-550-992（ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります）

ご注意

- 点検後は 3 年相当の使用期間ごとに 88 を表示して、点検時期をお知らせします。
  安全に製品を使用していただくため、88 を表示した場合は、点検（有料）を受けることをおすすめします。

- 点検を受けていただくまでの間、表示部の 88 を表示しないようにできます。
  弊社 お客様ご相談窓口に連絡してから次のように操作してください。

高機能リモコンは タイマー と ▲ を、**シンプルリモコン**は スイッチ/タイマー と温水温度 ▲ を同時に3秒以上押すと表示が消灯します。

- 点検を受けずにご使用になった場合、上記操作後、1年相当になると再度 88 を表示します。

次の現象は故障ではありません

■試運転時煙が出たり臭いがする

試運転時、機器の燃焼経路に付着した機械油が燃えるため、煙が出たり臭いがすることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。

■運転停止後しばらく送風機の音がする

燃焼室内の排ガスを排出するために送風機が運転します。

■給排気筒トップ、吹出口から白煙が出る（冬期）

冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変わるため、給排気筒トップ、吹出口から白煙となって出ることがあります。

■すぐに温まらない

循環液の温度が設定温度になるまで時間がかかるためです。いつまでも温まらないときは配管内に空気が残っている可能性があります。（販売店に連絡してください）

■バーナが点火・消火を繰り返す

循環液の温度を制御しているためです。故障ではありません。

■初めて使用する時や油切れの時に、コトコト音がする

電磁ポンプ（給油用）が空打ちする音です。異常ではありません。

■使用中にときどきコトコト音がする

電磁ポンプ（送油用・給油用）の運転音です。異常ではありません。

11 部品交換のしかた

部品交換のしかた

- 部品交換は処理がむずかしいので、お買いあげになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会（TEL 03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は **コロナ純正部品** と指定してください。

■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

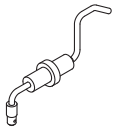
- 定期的に交換が必要な部品は次のとおりです。

炎検知器（フレームロッド）

- フレームロッドが消耗してきた場合、エラーを表示し運転を停止します。
（エラー表示：11・12・13）

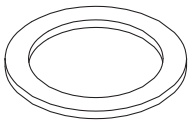
点火プラグ

- プラグの先端部が消耗したり、ススで汚れたりすると点火不良をおこします。



パッキン類

- パッキン類（バーナ部）が劣化しますと、燃焼ガスが漏れたり、燃焼不良の原因になります。
（メンテナンス時分解した場合は必ず交換が必要です）

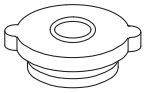


Oリング（排気筒接続部 P50 4種D）（該当機種：屋内用 FF）

- 長期の使用により劣化しますと排気漏れの原因になります。

給水キャップ

- 長期の使用により、ゴムパッキン部が劣化します。



■環境により劣化しやすい部品

- ゴム製送油管

■変質灯油・不純灯油の使用により劣化しやすい部品

- オイルフィルタ
- 電磁ポンプ（送油用・給油用）

12 仕　様

型式の呼び		UHB-G75H		UHB-G120H	
設置バリエーション		(M)	(FF)	(M)	(FF)
温水配管システム		半密閉式温水配管システム			
配管口方向		左	左／後 両出し	左	左／後 両出し
種類	燃焼方式	気化式			
	給排気方式	屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形	屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形
	用途別方式	暖房用			
	給水方式	タンク式			
	加熱方式	1缶1水路式			
点火方式		高電圧放電式			
使用燃料		灯油（JIS1号灯油）			
燃料消費量		9.06kW（0.88L/h）		13.89kW（1.35L/h）	
暖房効率		82.0%		83.5%	
暖房出力		7.43kW		11.6kW	
熱交換器容量		4.7L			
使用圧力（最高使用圧力）		0.1MPa			
伝熱面積		0.38m²			
外形寸法		680mm×470mm×285mm（高さ）（幅）（奥行）	590mm×470mm×285mm（高さ）（幅）（奥行）	680mm×470mm×285mm（高さ）（幅）（奥行）	590mm×470mm×285mm（高さ）（幅）（奥行）
質量		27kg	24kg	27kg	24kg
電源電圧および周波数		100V　50/60Hz			
定格消費電力	点火時	530W		540W	
	燃焼時	55W		75W	
待機時消費電力		1.0W（シンプルリモコン使用時）1.2W（高機能リモコン使用時）			
給排気筒の型式の呼び		—	QU49-2-1	—	QU49-2-1
給排気筒の呼び径		—	D49	—	D49
給排気筒の壁貫通部の孔径		—	φ85mm	—	φ85mm
排気温度		260℃以下			
騒音レベル		35dB	31dB（室内側）	40dB	33dB（室内側）
循環管取付口径		R3/4（20Aオネジ）			
電流ヒューズ		15A、6A			
温度ヒューズ		99℃			
安全装置		・対震自動消火装置　・点火安全装置　・燃焼制御装置　・停電安全装置　・過熱防止装置			
その他の装置		・送風機回転検知　・熱交換器過熱防止装置　・電流ヒューズ　・温度ヒューズ　・排気管抜け検知装置（FFタイプ） ・油切れ検知装置　・油面異常検知装置			
付属品	ボイラと同梱	・取扱説明書　・工事説明書			
		・エルボ（スリーブ・袋ナット付）	・ゴム製送油管（長さ2.5m） ・ホースバンド ・送油ホース接続パイプ（袋ナット付）	・エルボ（スリーブ・袋ナット付）	・ゴム製送油管（長さ2.5m） ・ホースバンド ・送油ホース接続パイプ（袋ナット付）
	別梱包	———	・給排気筒セット	———	・給排気筒セット

13 アフターサービス

保証について

- この取扱説明書の最後に保証書がついています。
  保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買いあげ日から１年間です。
- 次のような原因による故障、および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）
  - ■変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。
  - ■誤った使用方法による故障や事故。
  - ■一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
  - ■凍結による事故および破損。

修理を依頼されるとき

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口（本書 46 ページに記載）に連絡してください。
- ご連絡いただきたい内容は次のとおりです。
  ①品名
  ②型式の呼び
  ③設置場所（屋内・屋外）
  給排気方式（屋外用開放形・屋内用密閉式強制給排気形）
  ④お買いあげ日
  ⑤故障の状況（できるだけ具体的に）
  ⑥ご住所・お名前・電話番号
- 修理に際しましては、保証書を提示してください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口（本書46ページに記載）にお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■保有期間が過ぎているときは

- お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご希望により有料修理させていただきます。

■補修用性能部品について

- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後7 年です。

14 据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据え付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身ではおこなわないでください。

据付け場所の選定および標準据付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

試運転はお買いあげの販売店または据付業者とご一緒に必ずおこなってください。

運転準備 （11ページもお読みください）

準備内容（確認事項）	チェック
1.給油および送油経路の空気抜きをしてありますか。	
2.送油管の接合部から油漏れはありませんか。	
3.温水経路（機器・床暖パネルなど）に循環液が入っていますか。	
4.機器や配管から液漏れはありませんか。	
5.リモコンは確実に接続されていますか。	
6.電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
7.半密閉タンクの循環液水位点検窓の上限水位まで循環液が入っていますか。	

試運転

運　転

（13～28ページもお読みください）

■運転開始手順

〔高機能リモコン（RHB-MD2）の場合〕

- 電源 を押す。（電源ランプ（緑）点灯）
- 運転 を押す。（運転ランプ（緑）点灯）
- 温水設定温度が点灯し、運転を開始します。
- バーナの燃焼が始まるとリモコンに🔥（燃焼マーク）を表示します。

〔シンプルリモコン（RHB-ME2）の場合〕

- 運転 を押す。（運転ランプ（緑）点灯）
- 温水設定温度が点灯し、運転を開始します。
- バーナの燃焼が始まるとリモコンに🔥（燃焼マーク）を表示します。

- 送油経路内の空気が抜けるまで、電磁ポンプの振動音がしますが、異常ではありません。
- 初めて運転するときは、空気抜きをしても機器内のレベラタンクに灯油が溜まるまでに「エラー1（油切れ検知装置作動）」が表示される場合があります。「エラー1」が表示された場合は、油タンクに灯油があることを確認してから電源スイッチ、または運転スイッチを都度押し直してください。なお、「エラー1」が解除できなくなった場合は、本体基板上のリセットスイッチを押して解除してください。
- 試運転終了後、今一度設置場所にいき送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか確認してください。

■初期運転時の異常現象

- 循環液に溶けていた空気や配管内の空気が気水分離器にたまり、循環液の流れる音が聞こえてくることがあります。２～３時間試運転後、必ず一旦停止して循環液が冷えた後、34ページの「半密閉タンクの水位」の項にしたがい循環液を補給してください。

■正常運転の目安

- 熱交換器内の循環液温度によって自動運転し、バーナが燃焼しているときは、リモコンに🔥（燃焼マーク）が表示すること。
- 給排気筒（FF）、吹出口（M）からススや煙が出ていないこと。
- 機器内部から異常な音がしていないこと。
- しばらくして暖房システムが温まること。

運転停止

〔高機能リモコン（RHB-MD2）の場合〕

- 電源 を押す。
- 電源ランプ、運転ランプが消灯し、温水設定温度、🔥（燃焼マーク）表示が消え、運転を停止します。

〔シンプルリモコン（RHB-ME2）の場合〕

- 運転 を押す。
- 運転ランプが消灯し、温水設定温度、🔥（燃焼マーク）表示が消え、運転を停止します。

── メ モ ──

メモ欄として活用してください。

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。

電話番号は変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号　365日24時間受付）

TEL　フリーダイヤル　**0120-919-302**

携帯電話 PHS　ナビダイヤル　**0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

株式会社コロナ
〒955−8510　新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　http://www.corona.co.jp/

31036102

コロナ 油だき温水ボイラ保証書

型式	コロナ油だき温水ボイラ UHB-G75H　UHB-G120H
★お客様	お名前　　様
	ご住所 〒（　　－　　） 電話（　　）　　―

★お買いあげ日	年　　月　　日
保証対象部分	本体
保証期間（お買いあげ日より）	1　年

見本

- 本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです
- お買いあげ日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがございますので、ご了承ください。
- ご販売店様へ
  お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上（★印欄に記入のない場合は、無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

★販売店	住所・店名 電話（　　）　　―

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
≪無料修理規定≫をよくお読みください。

《無料修理規定》

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は、事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
4．ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口（本書46ページに記載）にお問い合わせください。
5．次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買いあげ後の取付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質（温泉水など）、指定外の使用電源（電圧、周波数）および燃料、給水の供給事情による故障および損傷
（ニ）指定外の燃料、不純燃料の使用による故障および損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
（ヘ）水垢もしくは凍結による故障および損傷
（ト）当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障および損傷
（チ）当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷
（リ）据付け工事の不備による故障および損傷
（ヌ）本書の提示がない場合
（ル）本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヲ）点検整備、および消耗品（ゴム製送油管、Oリング、各種パッキン類）の交換をされる場合
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
7．本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口（本書46ページに記載）にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

株式会社 コロナ
〒955－8510 新潟県三条市東新保7－7
TEL（0256）32－2111

219WA0579　-0 1 2 3 Ⓝ 30